

## 令和2年度国・県予算に対する統一要望について

令和元年5月28日  
市長公室

## 《総括表》

## 1 要望件数総括表

(単位：件)

要望件数			内訳					
			国			県		
合計	新規	継続	小計	新規	継続	小計	新規	継続
34	3	31	18	3	15	16	0	16
(34)	(0)	(34)	(18)	(0)	(18)	(16)	(0)	(16)

※( )内は前回の要望件数

## 2 所管部署内訳

## (1) 国関係

国土交通省	14
環境省	1
文部科学省	1
防衛省	2
合計	18

## (2) 県関係

文化スポーツ部	1
環境生活部	1
県土整備部	14
合計	16

## 3 各部等の提出内訳

部等名	合計	内訳	
		国	県
総務部	1	1	0
市民部	1	0	1
建設部	21	10	11
都市整備部	6	4	2
玉山総合事務所	3	1	2
上下水道局	7	4	3
教育委員会	1	1	0
合計	40	21	19

※国要望No.1及び県要望No.3は、建設部、都市整備部及び上下水道局の合同提出

※国要望No.16は、都市整備部と教育委員会の合同提出

※県要望No.10は、建設部と玉山総合事務所の合同提出

令和2年度 国予算に対する統一要望事項<一覧表>

※備考欄は県に対しても要望している項目

No.	頁	要望事項（件名）	新・継	所管部署	提出部等名	備考
1	1	社会资本整備総合交付金及び防災・安全交付金に係る事業の推進について	継続	国土交通省 (道路局、都市局、水管理・国土保全局、住宅局)	建設部 都市整備部 上下水道局	県3
2	3	一般国道106号「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」の整備促進及び直轄指定区間編入について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県4
3	6	一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化の整備促進について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県5
4	8	一般国道4号「盛岡南道路」の事業化に向けた調査促進について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県6
5	10	宮古盛岡横断道路に対する重要物流道路の指定及び整備促進について	新規	国土交通省 (道路局)	建設部	
6	12	道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県7
7	15	一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備について	継続	国土交通省 (道路局)	玉山総合事務所	県8
8	17	都市局所管盛岡市内街路事業の推進について	継続	国土交通省 (都市局)	建設部	県9
9	19	盛岡市内の直轄管理河川北上川水系治水事業の促進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	建設部	
10	21	北上川上流ダム再生事業の促進について	新規	国土交通省 (水管理・国土保全局)	建設部	
11	23	都市基盤河川改修事業の推進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	建設部	県12
12	25	盛岡市土地区画整理事業の推進について	継続	国土交通省 (道路局、都市局)	都市整備部	県15
13	27	盛岡地区かわまちづくり事業の促進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	都市整備部	
14	29	盛岡市公共下水道事業の推進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	上下水道局	
15	31	循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について	継続	環境省 (廃棄再生・資源循環局)	上下水道局	県16
16	33	国指定史跡盛岡城跡保存整備事業の推進について	継続	文部科学省 (文化庁・文化財部)	都市整備部 教育委員会	
17	35	防衛施設周辺対策事業による防災行政無線の整備推進について	継続	防衛省 (地方協力局)	総務部	
18	37	防衛施設周辺対策事業による刈屋地区水道施設更新の推進について	新規	防衛省 (地方協力局)	上下水道局	

※○印みは重点要望事項

令和2年度 県予算に対する統一要望事項<一覧表>

※備考欄は国に対しても要望している項目

No.	頁	要望事項（件名）	新・継	所管部署	提出部等名	備考
1	39	スポーツ推進施策の充実強化について	継続	文化スポーツ部	市民部	
2	40	水道施設耐震化等推進事業費補助金の確保について	継続	環境生活部	上下水道局	
3	44	社会资本整備総合交付金及び防災・安全交付金に係る事業の推進について	継続	県土整備部	建設部 都市整備部 上下水道局	国1
4	45	一般国道106号「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」の整備促進及び直轄指定区間編入について	継続	県土整備部	建設部	国2
5	47	一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化の整備促進について	継続	県土整備部	建設部	国3
6	48	一般国道4号「盛岡南道路」の事業化に向けた調査促進について	継続	県土整備部	建設部	国4
7	50	道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について	継続	県土整備部	建設部	国6
8	52	一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備について	継続	県土整備部	玉山総合事務所	国7
9	53	都市局所管盛岡市内街路事業の推進について	継続	県土整備部	建設部	国8
10	54	盛岡市内の県道の整備促進について	継続	県土整備部	建設部 玉山総合事務所	
11	58	岩手県管理河川改修事業の促進について	継続	県土整備部	建設部	
12	61	都市基盤河川改修事業の推進について	継続	県土整備部	建設部	国11
13	62	築川ダム建設事業の促進について	継続	県土整備部	建設部	
14	64	急傾斜地崩壊対策事業の促進について	継続	県土整備部	建設部	
15	67	盛岡市土地区画整理事業の推進について	継続	県土整備部	都市整備部	国12
16	68	循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について	継続	県土整備部	上下水道局	国15

#### 4 今後の要望日程（予定）について

要望日程	要望項目	要望先
令和元年6月6日（木）	岩手県議会議員に対する 要望説明	盛岡選挙区選出岩手県議会議員
令和元年7月9日（火）	国に対する統一要望	各省庁、岩手県選出国會議員
令和元年8月2日（金）	県に対する統一要望	岩手県盛岡広域振興局長

令和 2 年度

国・県予算に対する統一要望事項（案）

# 国予算に対する統一要望事項

## **社会资本整備総合交付金及び防災・安全交付金に係る 事業の推進について**

盛岡市では、「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」を将来像に掲げ、<sup>なたやちょう</sup> 銀座町をはじめとする歴史的街並みを活用した地域の活性化や、時代の変化に合わせた新たな手法を盛り込んだ土地区画整理事業等による都市基盤の整備、「もりおか交通戦略」による都市活動を支える交通を中心とした交通環境の構築などの各種施策のほか、地域の活力ある社会経済の維持を目的に、東日本では初となる盛岡広域8市町による「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、その推進に取り組んでいます。

このような状況の下、社会资本整備総合交付金及び防災・安全交付金は、地域の実情に応じて柔軟な活用が可能な創意工夫を生かせる一括交付金であり、本市においても、住民の安全で快適な生活環境の確保等、市民生活の向上等に大きく寄与しております。整備によるストック効果としては、ここ数年本市への観光客入込数が増加しており、今後においても安全・安心な都市基盤施設の構築はもとより、交通ネットワークの構築による経済活動における生産性の向上や観光等の交流人口増加による賑わいの創出に繋がるものと期待しております。

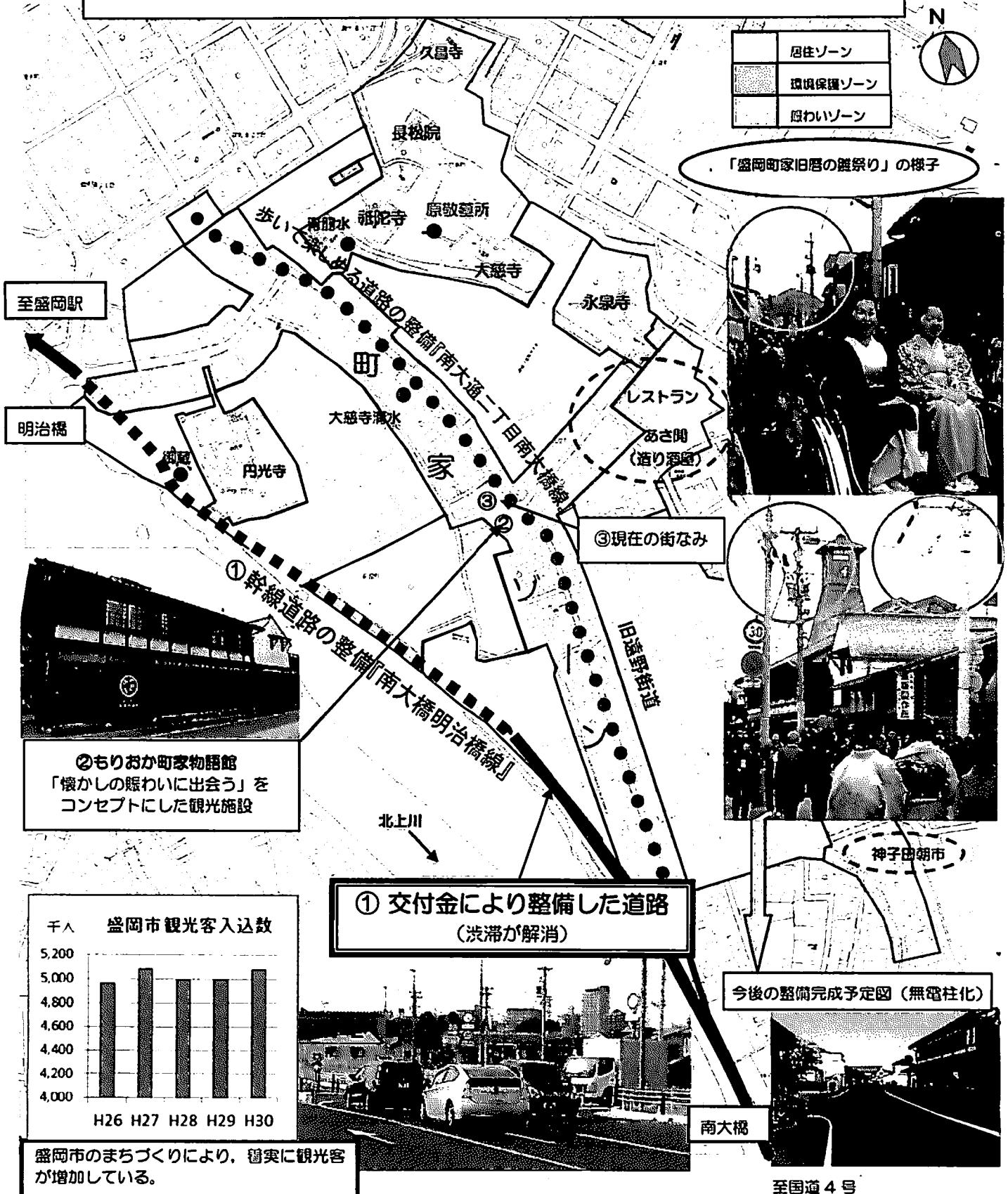
つきましては、本交付金の特性を存分に發揮し、滞りなく事業を推進するため、事業費の確保について要望いたします。

**<盛岡市の社会资本整備総合交付金による主な事業>**

道路事業、街路事業、河川事業、住宅事業、都市公園事業、土地区画整理事業、下水道事業

## 社会资本整備総合交付金事業を活用した鉈屋町の活性化

～地域住民との協働によるまちづくりにより様々なイベントを開催～



## 一般国道 106 号「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」の整備促進及び直轄指定区間編入について

宮古盛岡横断道路（一般国道 106 号）は、太平洋沿岸の重要港湾宮古港を有する宮古市と県都盛岡市を結ぶ延長約 66 km の路線であり、東日本大震災の際には、緊急輸送道路の「くしの歯作戦」の一路線として、迅速な救助活動、救援物資の搬送ルートとして利用され、現在「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」として、国の権限代行により整備にご尽力いただいているところです。

本路線は、宮古・盛岡間の移動時間が短縮され、物流の効率化促進による地域産業の活性化や周遊観光圏域の拡大による経済効果のほか、沿岸部から内陸部の高次医療施設への救急搬送や医療活動の安定性・迅速性の確保など、「ストック効果」の発揮が大いに見込める路線であります。

特にも、令和元年度は都南川目道路が開通予定であり、一般国道 4 号及び 46 号へのアクセスが飛躍的に向上する見込みです。

平成 30 年 6 月 22 日には、宮古一室蘭フェリーが運行開始し、港湾と道路の整備によって、今後一層の交流・物流の活発化が期待されているところであります。

一方、本路線は、交通事故等による通行止めが多数発生し、近隣に迂回路もないことから、その安全性や信頼性に大きな課題を抱えております。また、平成 28 年 8 月の台風第 10 号の影響により、11 日間の通行止めが発生するなど、災害に対する脆弱性の解消が急務となっています。

また、北上高地特有の急峻な地形のため、トンネルや高架橋による整備により、高度な維持管理に関する技術が必要とされます。また、全区間延長の約 40% を超える区間が新設区間であり、新設区間の現道における既存集落については、生活道路としての機能確保、バス路線維持等の自治体としての新たな役割が必要と見込まれており、国と地方自治体の役割分担による適切な管理が望まれます。

つきましては、東日本大震災からの早期復興に向け、安全で信頼性の高い高規格道路として、災害時や冬期間の道路交通の確保を一段と確かなものとし、三陸沿岸地区と内陸との強力な連携により北東北地域の産業・経済・文化の交流、豊かな地域資源を活かした観光誘客等の促進を図るとともに、国と地方自治体の役

割分担による適切な維持管理が図られるよう、次のことを要望いたします。

記

- 1 一般国道 106 号「宮古盛岡横断道路(復興支援道路)」の整備促進と全線高規格化を図ること。
- 2 一般国道 106 号「宮古盛岡横断道路(復興支援道路)」については、国が直轄で管理すること。

## 宮古盛岡横断道路(復興支援道路)整備促進・直轄指定区間編入要望図

宮古盛岡横断道路整備による整備効果

物流・観光の広域化・活性化を実現

救急搬送や医療活動の迅速性・安定性を確保

航路開設に伴い期待される効果

- ・観光振興、修学旅行生の誘致
- ・北海道と本州を結ぶ物流の活性化
- ・新規雇用や地元食糧の消費拡大

県内発のフェリー定期航路計画（平成30年6月22日開設）

(宮古港)

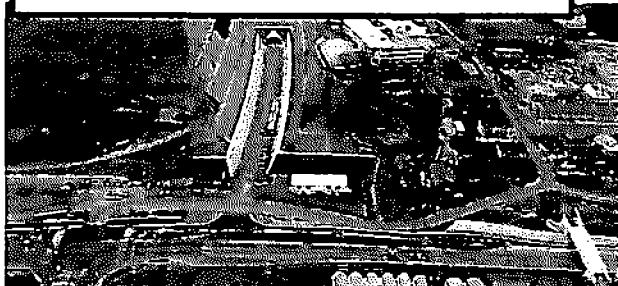


速力20ノットで10時間

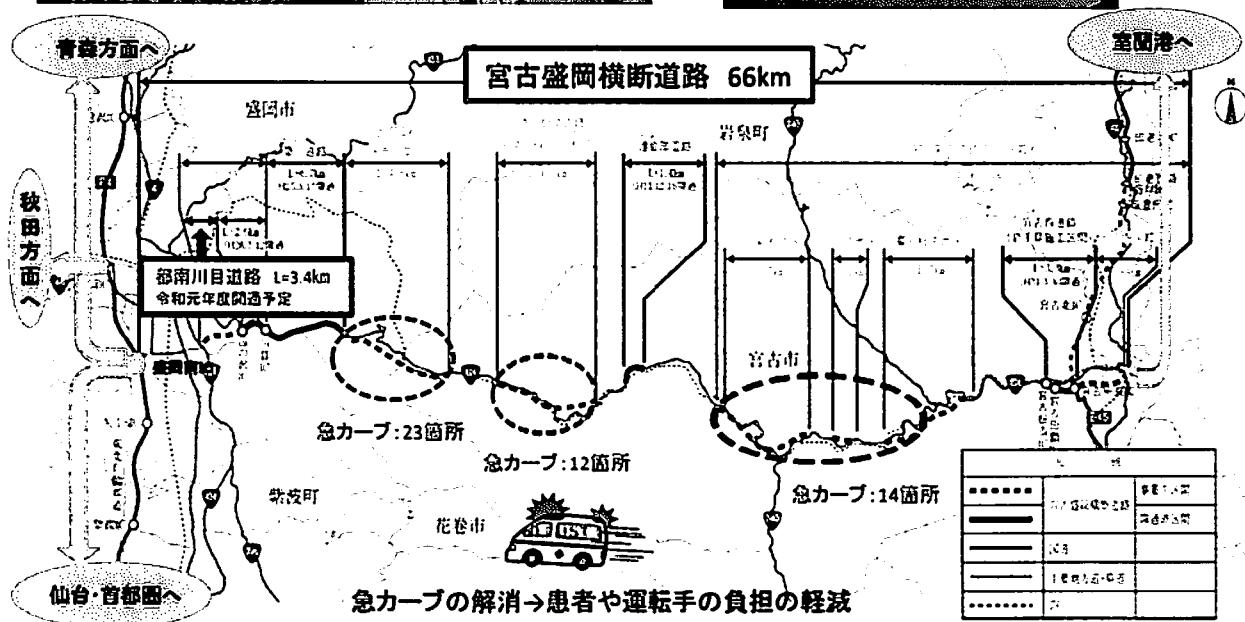
(室蘭フェリーターミナル)



都南川目道路 令和元年度開通予定！



室蘭からのフェリー入港の様子(平成30年6月22日)



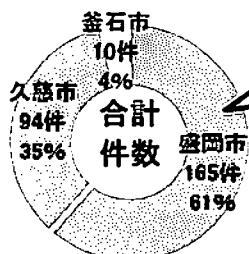
◆宮古地区的管外搬送先内訳(H30)

道路整備による所要時間の短縮効果

盛岡市

開通前120分  
約30分短縮  
開通後86分

宮古市



約6割が  
盛岡市へ搬送

※その他5件を除外

資料:宮古地区広域行政組合  
消防本部搬送実績(H30.4提供)

## **一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の 4車線化の整備促進について**

一般国道46号「盛岡西バイパス」は、盛岡都市圏西側の環状道路機能を担うとともに、一般国道106号と連絡し、秋田市～盛岡市～宮古市を結ぶ横軸連携を形成する重要な路線となっております。

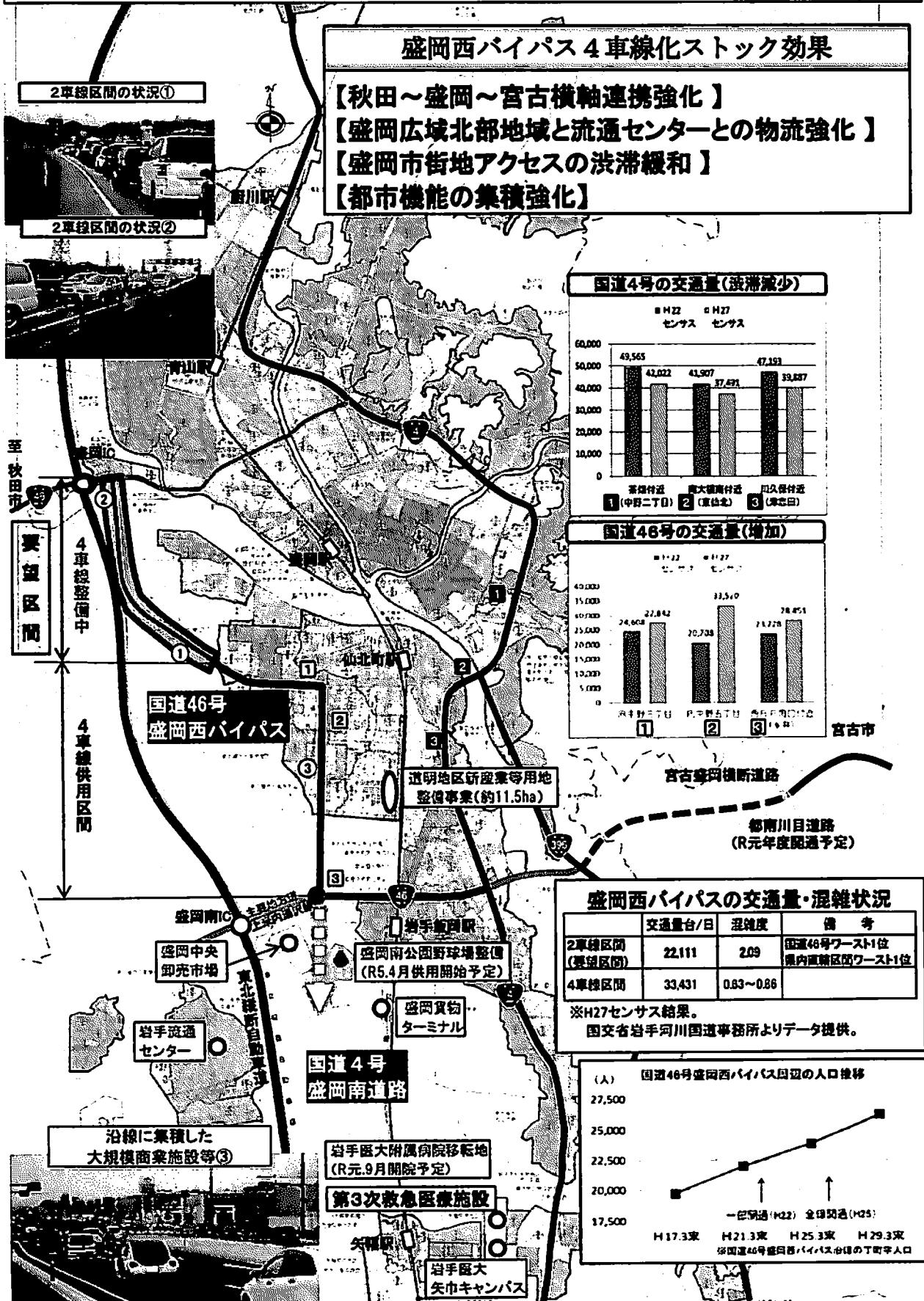
「盛岡西バイパス」は、平成25年に主要地方道上米内湯沢線まで7.8kmが開通しておりますが、本宮字泉屋敷から上厨川字前潟の区間約3.6kmが2車線となっており、国のご尽力により4車線化の整備を行っていただいているところです。平成25年の開通以降、交通量は増加しており、現在、3万3千台を超えるなど確実に幹線道路としての機能が発揮されております。

一方、盛岡西バイパス沿線では、盛南開発などの都市開発と盛岡西バイパス整備との相乗効果により、大規模商業施設の立地が相次ぎ、沿線の人口も大きく伸びているなど市街地の形成が急速に進んでいます。

また、復興支援道路として整備が進められている宮古盛岡横断道路「都南川目道路」が、令和元年度に開通が予定されるとともに、新たなものづくりの拠点となる新産業等用地整備の進捗やプロ野球1軍公式戦が開催可能な2万人規模の野球場整備計画もあるなど、今後も、交通需要が増加する状況にあります。

つきましては、北東北の東西連携の強化をはじめ、物流の強化や渋滞緩和、都市機能の集積強化を図るため、一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間について、4車線化の整備を促進していただきますよう強く要望いたします。

## 一般国道46号「盛岡西バイパス」の4車線化整備促進要望図



## 一般国道4号「盛岡南道路」の事業化に向けた調査促進について

一般国道4号は、岩手県の内陸部を南北に縦貫している大動脈であり、盛岡広域都市圏における円滑な交通の確保と都市の発展に大きな役割を担う重要な路線となっております。

盛岡市は盛岡広域圏における生活・経済の中心であり、盛岡南地区においては、盛南開発により人口が増加し、「盛岡西バイパス」沿線等へ商業施設が集積しており、市街化が急速に進展しております。さらに、矢巾町や紫波町とは通勤通学などの流動が多く、盛岡市と一体の生活圏が形成されており交通需要が大きくなっている状況です。

このため、国道4号においては、国道46号以南の交通量が増加し、著しい渋滞が発生している状況にあり、宮古盛岡横断道路の開通後には交通量がさらに増加することが想定されます。

こうした中、当地区には、岩手流通センター、盛岡貨物ターミナル及び盛岡中央卸売市場等が立地し、物流拠点が形成されており、国道4号の渋滞が物流の大きな支障になっております。

また、令和元年9月には、救急医療の中核を担う岩手医科大学附属病院が矢巾町で開院しますが、病院を中心とした道路ネットワークが十分に形成されていないことから、アクセス性の向上が重要な課題となっております。さらに、道明地区においては新産業等用地の開発が進められており、盛岡南公園にはプロ野球1軍公式戦が開催可能な2万人規模の野球場整備も予定されているなど、今後においても交通需要の増加が見込まれることから、主要幹線道路の必要性が高まっている状況です。

つきましては、盛岡市を中心とした都市圏の圏域人口の維持や持続可能な経済・産業圏域の形成、高次都市機能の集約強化、そして「命を守る医療体系」を機能させるとともに、これらを支える渋滞のない道路ネットワークを形成するため、一般国道4号「盛岡南道路」の「計画段階評価を進めるための調査」促進について強く要望いたします。

# 「一般国道4号盛岡南道路」の調査促進要望図

## 盛岡南道路のストック効果

- 【国道4号の混雑緩和が図られる】
- 【物流の効率化が図られる】
- 【命を守る医療体系の構築】
- 【持続可能な経済・産業圏域の形成】

盛岡広域圏 通勤通学流動

滝沢市  
零石町  
約17,150

約8,690

盛岡市

約7,590

約11,510

矢巾町  
紫波町

通勤通学で  
約45,000人/日の流動

資料:H27国勢調査 単位:人/日

【写真①】国道4号の渋滞状況  
・盛岡南IC入口交差点南側

至仙台

至宮古市

## 国道4号盛岡南道路 要望箇所

国道46号  
盛岡西バイパス

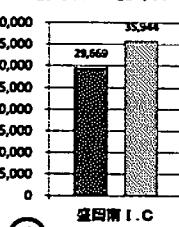
道明地区新産業等用地  
整備事業(約11.5ha)

宮古盛岡横断道路

都南川目道路  
(R元年度開通予定)

## 国道4号の交通量

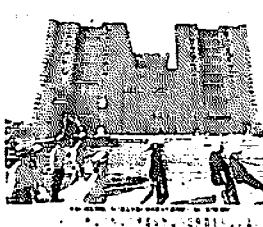
■ H22 ■ H27  
センサス センサス



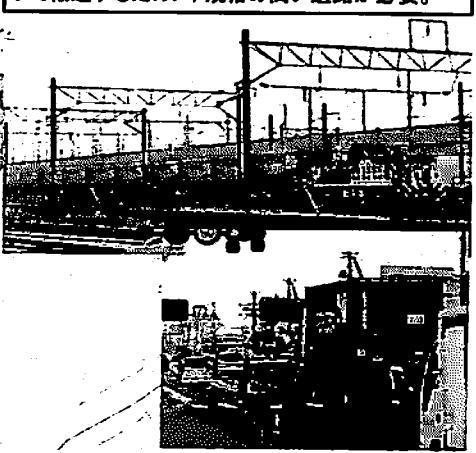
### 【写真②】

物流拠点を結ぶ円滑なネットワークの確保  
・盛岡貨物ターミナル駅から県南の金ヶ崎町にある工場へ、組み立て部品などをコンテナ貨物トラックで輸送するために、規格の高い道路が必要。

▼岩手日報 平成30年9月14日(金)



岩手医大新病院建設  
着工  
建設進捗率  
65%



# 宮古盛岡横断道路に対する重要物流道路の指定及び整備促進について

盛岡市は岩手県の中央部に位置し、東北自動車道や一般国道4号、46号、106号など、県内のみならず北東北の核となる主要幹線道路が複数集まっております。

平成30年6月22日には宮古と室蘭を結ぶフェリー定期航路も就航するなど、港湾と道路によって今後一層の人流・物流の活発化も期待されております。また、令和元年度中には復興支援道路である宮古盛岡横断道路の都南川目道路が開通予定であり、早期全線開通が待たれるところです。

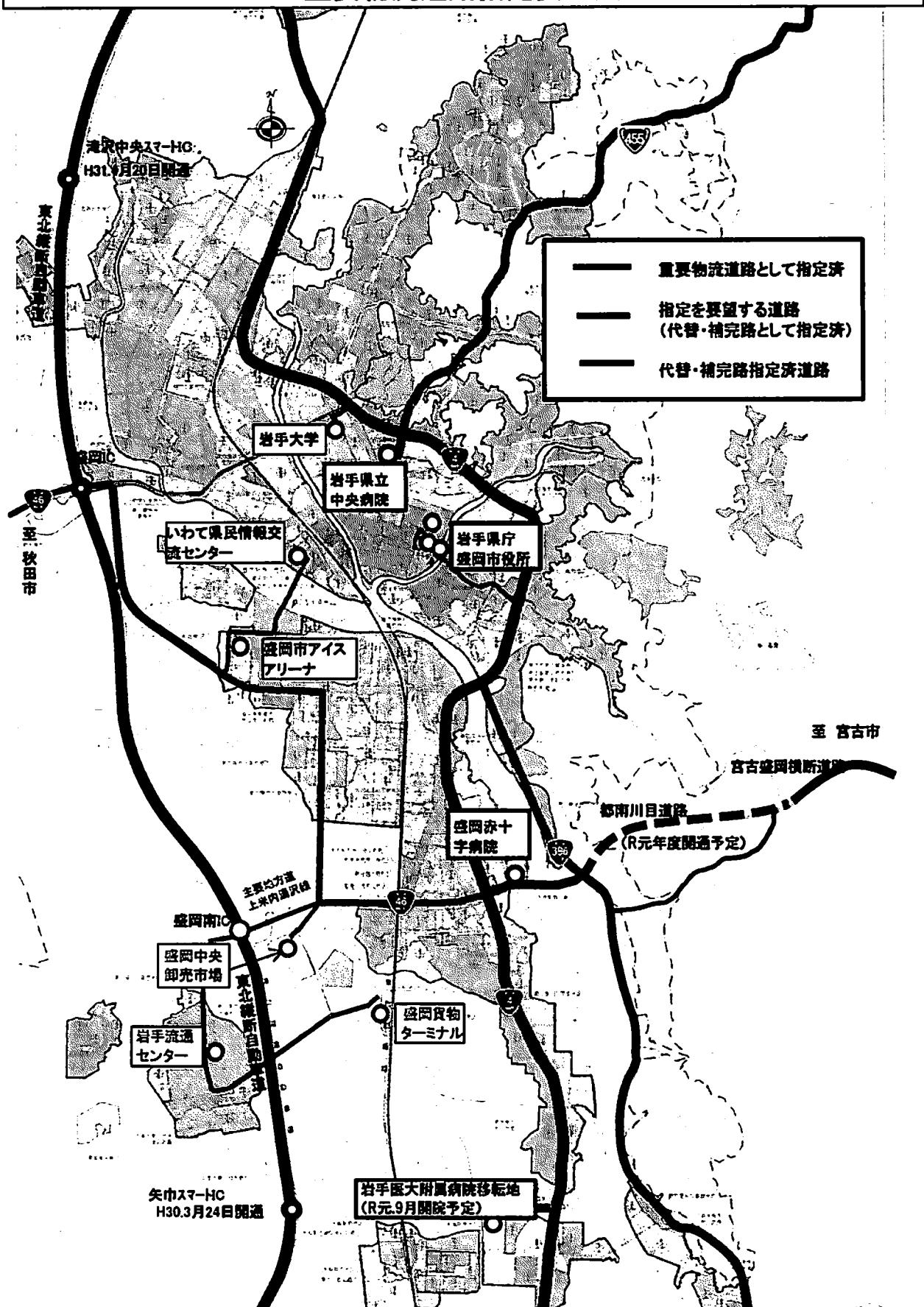
また、平成28年8月の台風10号は、被災を受けた岩泉町や久慈市、宮古市と盛岡市を結ぶ幹線道路を寸断するなど、県内に甚大な被害をもたらしました。その後も、大雨や大雪による一般国道46号の通行止めも発生しております。これらのこととは、激甚化する災害へ備えるために、遅れている道路をはじめとする社会基盤の構築が急務であると、認識を新たにしているところであります。

このような中、平成30年3月の道路法一部改正による重要物流道路制度が導入され、平成31年4月1日に盛岡市内でも東北自動車道、一般国道4号、46号と、物流拠点との接続道が重要物流道路の指定を受けました。併せて、一般国道106号などが代替・補完路として指定されましたが、広い県土と急峻な山岳地帯の多い岩手県では、自動車依存度が高く、平常時・災害時を問わない安定的かつ安全な輸送の確保は必要不可欠であります。

特に、東北自動車道や一般国道4号など、縦軸となる高規格道路の重要性もさることながら、港湾都市である宮古市と盛岡市を結ぶ宮古盛岡横断道路などの主要幹線道路は、横軸の連携の面でも重要な道路であります。盛岡市はこれら主要道路の結節点であり、道路ネットワークの形成には大変期待をしているところでございます。

つきましては、地方の実情をご理解いただき、宮古盛岡横断道路につきましても「重要物流道路」にご指定いただくとともに、安全かつ円滑な輸送を確保するほか、指定された道路ネットワークの機能強化や重点支援に特段のご配慮をいただきますよう強く要望いたします。

## 重要物流道路指定要望図



# 道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点を目指し、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところあります。

しかしながら、歩行者の安全確保や道路事情の改善を図るために、道路整備は未だ十分とはいえない状況にあり、広域連携等の推進を図るために幹線道路をはじめとして、学校、警察、道路管理者による通学路の緊急合同点検結果を踏まえた交通安全施設の整備が急務となっております。

盛岡広域圏では、東日本で初となる連携中枢都市圏として、「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、人口減少、少子高齢社会に向けた取組みを進めております。

滝沢市、矢巾町との結びつきやネットワーク強化により両市町との一体的な発展を図るため、都市圏ビジョンに位置付けられた基幹道路の整備が求められております。

また、市街地を3河川（北上川、中津川及び零石川）が流れ、多くの橋を有しておりますが老朽化しており、平成25年度に制定された「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靭化基本法」を踏まえた、災害時にも対応した適切な長寿命化対策が課題となっております。

つきましては、道路局所管盛岡市道路整備事業の着実な推進について要望いたします。

## 1 道路局所管の盛岡市道路整備事業の着実な推進

区分	路 線 名	要望地区	工 種
継続	津志田白沢線 (連携中枢都市圏路線)	永井地区	道路改築
"	谷地頭線 (連携中枢都市圏路線)	厨川地区	"
"	岩手公園開運橋線	菜園地区	交通安全、無電柱化

〃	ひがしなかのかど 東中野門線	ひがしなかの 東中野地区	交通安全
〃	いわていいおかえきとうざいじゅうつうろ 岩手飯岡駅東西自由通路	ながい 永井地区	〃

## 道路局所管道路整備事業に係る要望箇所図

N 滝沢市

滝沢市との広域連携強化  
(連携中枢都市圏ビジョン)

盛大附高

北陵中

西川駅

北庭川小

② 通学路の安全確保

③ 無電柱化や融雪による歩行空間の向上

④ 通学路の安全確保

### 道路整備事業の効果

#### 現状

- ◆交通量の多い通学路等において歩行者が危険にさらされている。
- ◆車道幅員も狭いため、安全性やアクセス機能の面で支障をきたしている。
- ◆中心市街地では電柱が歩行空間を狭め、冬季は積雪凍結により歩行困難な状況。
- ◆車両だけではなく歩行者においても、地域間の往来の改善が求められている。

#### 道路整備による効果

- ◆交通環境の改善により歩行者、車両の安全確保
- ◆電線地中化や融雪による中心市街地の歩行者空間の快適性向上
- ◆道路新設や自由通路整備による地域間交流と活性化期待

番号	路線名等
①	津志田白沢線
②	谷地頭線
③	岩手公園開運橋線
④	東中野門線
⑤	岩手飯岡駅東西自由通路

主要地方道  
盛岡和賀

駅東西交流  
地域活性化

矢巾町との広域連携強化  
(連携中枢都市圏ビジョン)

## 一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備について

一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備につきましては、平成7年に事業用地の一部を先行取得しておりましたが、平成27年4月の渋民バイパスの全線開通を受け、本市初の「道の駅」整備に向け、地域住民・関係団体の協力のもと、懇談会やワークショップの開催、利用者ニーズ調査などを実施するとともに、国土交通省東北地方整備局及び岩手河川国道事務所の御助言をいただきながら、導入機能・整備規模・整備手法等の検討を進め、平成31年3月に基本計画を策定したところであります。

本市の目指す道の駅は、姫神山や岩手山の眺望をいかしながら、石川啄木記念館や旧尋常小学校など石川啄木ゆかりの施設との連携により、啄木が愛した原風景や過ごした時間を感じていただける施設としております。また、一日当たり11,000台を超える渋民バイパス利用車両への休憩や道路情報提供の場として、道路利用者等の交通安全の確保と利便性向上を図るとともに、災害時の一時避難の機能も期待されております。更に、地域情報の発信や付加価値のある農畜産物の販売、素材を生かした食の提供などにより、地域に活気を呼び込むほか、地域住民や子ども達の集いの場、子育て支援の場、地域を支える人材育成の場として地域振興の拠点施設となるものです。

つきましては、令和元年度(2019年度)には基本設計作成や、特産品開発などに着手し、令和5年度(2023年度)の開業を目指し事業実施を図る予定しておりますので、地方創生を推進し、持続可能な地域づくりを進めるためにも、当該道の駅整備の着実な推進について、特段の御理解と御配慮をいただきますよう要望いたします。

## 盛岡市道の駅設置事業概要



## 令和5年度(2023年度)開業予定

交通安全  
確保

地城振界

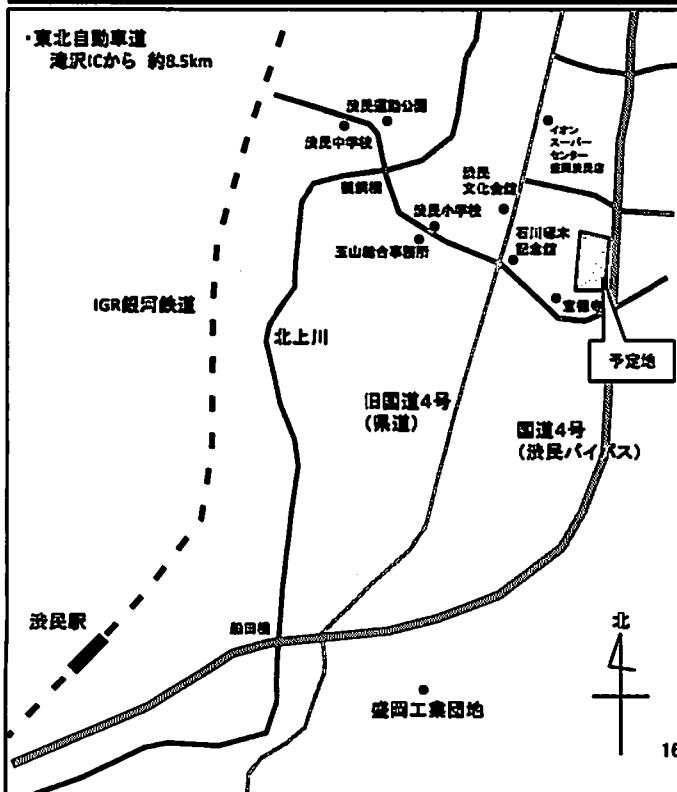
人材育成

## 元気な 地域づくり

地域のPR

防災力  
向上

【KPI】年間来客者数30万人、当初売上高2億円 → 交流人口拡大・地域経済の振興



### 想定スケジュール

平成30年度  
(2018)

- ・基本計画策定
  - ・整備方針検討
  - ・管理運営者公募準備・着手
  - ・基本設計(用地取得準備含む)等
  - ・管理運営候補者の早期公募
  - ・道の駅準備運営協議会設立
  - ・特産品開発等着手
  - ・実施設計(用地取得関係含む)等
  - ・管理運営準備
  - ・産直出荷者組織設立
  - ・整備工事
  - ・管理運営準備
  - ・指定管理手続準備等
  - ・整備工事
  - ・指定管理手続等

令和元年度  
(2019)

令和2年度  
(2020)

令和3年度  
(2021)

令和4年度  
(2022)

二〇二三

開業予定

地域の力や民間ノウハウを活かし  
地域の魅力あふれる道の駅を整備します

## 都市局所管盛岡市内街路事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点都市を目指し、現都心から盛岡南新都心地区に至る軸状都心の計画的な形成を図りながら、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところであります。

しかしながら、既成市街地は、城下町特有である道路の整備率の低さのため多車線道路が少なく、バス等の公共交通機関が有効に機能しない状況となっております。さらに、新市街地の形成や隣接市町への市街地の拡大等により交通需要は増加傾向にあり、既成市街地の主要道路や中心市街地へ連絡する幹線道路等は、恒常的な交通混雑を引き起こし、円滑な都市活動や安全な交通の確保等が著しく阻害されており、街路の整備が急務となっております。

本市においては、「もりおか交通戦略」を立案し、バスを中心とした公共交通軸の充実・強化や中心市街地へのアクセス交通の分散誘導を図るため交通政策と一体となった街路事業に取り組んでいるところであります。

また、盛岡駅本宮線（杜の大橋）は、既存市街地や盛岡駅西口地区と新市街地である盛南地区を結ぶ重要な幹線道路であります。平成18年度に2車線での暫定共用を開始しておりますが、交通量が多く渋滞が発生しており、今後においても新市街地での住宅や商業施設等の立地が進み交通量の増加が見込まれることから、早期に杜の大橋を4車線化にする必要があります。

つきましては、都市局所管盛岡市内街路事業の着実な推進についてご配慮いただきたく要望いたします。

事業主体	区分	路線名	要望地区	工種
盛岡市	継続	めいじばしおおさかわら 明治橋大沢川原線	おおどおり 大通三丁目外	道路改築
盛岡市	新規	あたごちょうみつわり 愛宕町三ツ割線	やまとぎし 山岸四丁目外	〃
岩手県	新規	もりおかえきもとみや 盛岡駅本宮線	もりおおはし 杜の大橋	橋梁4車線化

## 都市局所管街路事業に係る要望箇所図

## 道路整備事業の効果

四

- ◆車道幅員が狭いため、安全性やアクセス機能の面で支障をきたしている。
  - ◆交通量の多い通学路等において歩行者が危険にさらされている。
  - ◆中心市街地では電柱が歩行空間を狭め、冬季は積雪凍結により歩行困難な状況。

### 道路整備による効果

- ◆バス専用・優先レーンによる公共交通軸を形成することで、公共交通利用促進と中心市街地の交通環境の向上
  - ◆都心を囲む道路形成により、中心市街地の歩行者・自転車の回遊性の向上

## 4車線化 による渋滞 の解消

盛岡駅  
西口地区

盛岡駅

七  
盛

卷八

宮

三加

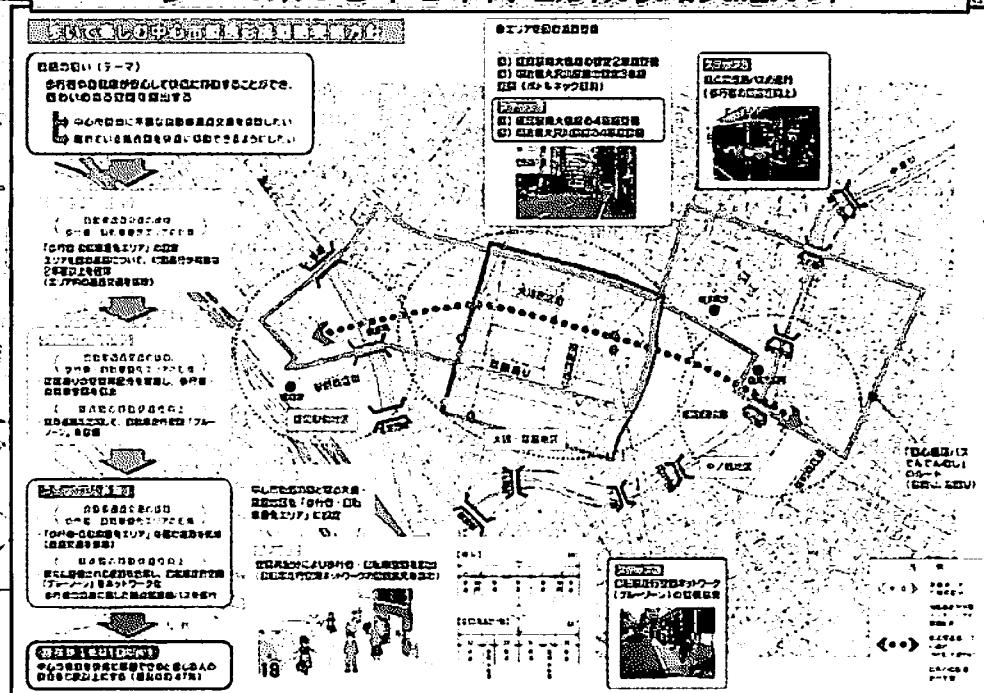
成南地区

## 歩道等の整備による安全性の向上と交通の円滑

## 中心市街地に係る 歩行者・自転車の回遊性向上

## もりおか交通戦略 歩いて楽しむ中心市街地形成戦略実施方針

番号	路線名等
①	明治橋大沢川原線(大通)
②	愛宕町三ツ割線
③	盛岡駅本宮線(杜の大橋)



## 盛岡市内の直轄管理河川北上川水系治水事業の促進について

盛岡市内の直轄管理河川（きたかみがわ 北上川、なかつがわ 中津川及びしづくいしかわ 霧石川）は、着実に整備が進められ、その中でも北上川と中津川につきましては、平成19年9月に発生した洪水中に伴う災害復旧による迅速な対応や、平成25年8月に発生した大雨・洪水及び同年9月に発生した台風の際には四十四田ダムと御所ダムの連携により市街地へのはん濫を防いでいただき深く感謝いたしております。また、市街地に配慮した快適でうるおいのある河川環境の創出など、積極的に取り組んでいただき重ねて感謝いたします。

しかしながら、北上川、中津川及び霧石川の3河川は、一部未改修の状態にあるため、降雨期の増水による河岸決壊や無堤箇所の浸水が懸念されるほか、近年、全国各地で記録的な豪雨による災害が発生するなど、流域市民に大きな不安を与えております。

つきましては、国土強靭化基本法に基づく「大規模災害の未然防止、発生時の被害拡大の防止」のため、治水事業費の確保及び河川改修事業の促進、また、局所的に流下能力が不足している「ゆうがおせ 夕顔瀬地区」、過去の洪水により浸水被害が生じた、「つしだ 津志田・盛岡右岸地区」、「みなみかわ 津志田・南川合流点地区」及び「おとべ 乙部地区」の未改修箇所の早期着手に加え、平成25年8月に漏水の発生した「みるまえ 見前地区」の堤防強化の促進について要望いたします。

また、北上川及び中津川の河川敷は、ギネス記録を持つ北上川ゴムボート川下りなど市民のレクリエーションの場としても広く活用されており、引き続き、河川における河道内樹木群の伐採や中州の撤去など、自然との共生及び環境との調和に配慮した適切な管理について要望いたします。

# 直轄管理河川北上川水系治水事業要望箇所図

至沢

## 北上川 夕顔瀬地区 改修要望



### 【要望効果】

河川改修、堤防未改修区間の解消により、市民の安全安心な生活の確保と、樹木伐採や中州撤去により、快適でうるおいのある河川環境の創出が図られる。

盛岡市役所

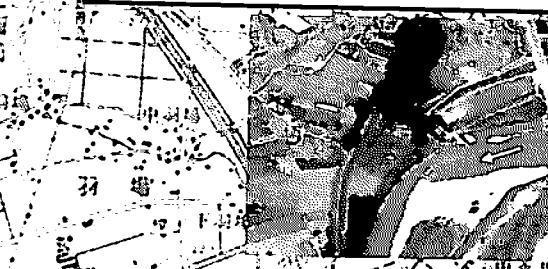
## 樹木・中州の管理要望

中津川 河道整正後

## 北上川 津志田・盛岡右岸地区 改修要望



## 北上川 津志田・南川合流点地区 改修要望

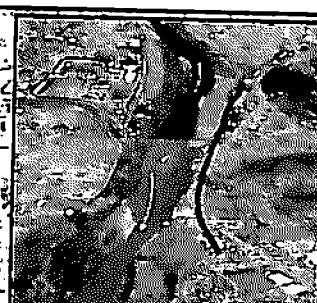


## 北上川 見前地区 堤防強化要望



堤防強化(護岸ブロック据付)

## 北上川 乙部地区 改修要望



### 凡 例

□ — 要望箇所

■ — H30まで実施

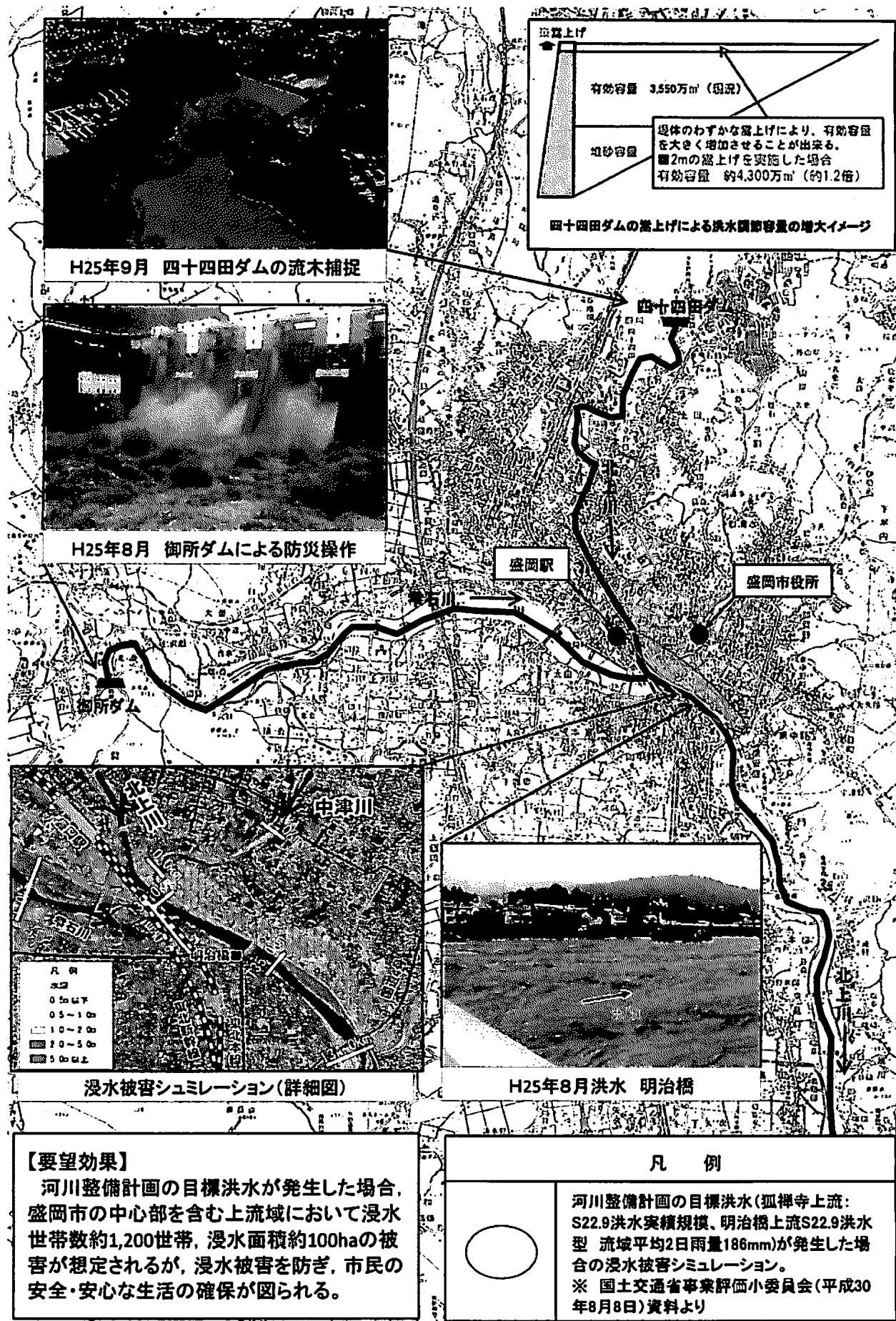
## 北上川上流ダム再生事業の促進について

盛岡市を守る治水の要である四十四田ダムと御所ダムにつきましては、平成25年8月の大暴雨及び同年9月の台風による洪水でダムの計画高水流量を上回る既往最大流量を記録し、御所ダムでは、洪水調節容量のほぼ満杯まで貯留するぎりぎりの状況でしたが、四十四田ダムと御所ダムの連携操作により、盛岡市街地への氾濫を防いでいただき、深く感謝いたしております。

近年、地球温暖化に伴う気候変化による豪雨や台風の激化など、水災害の発生頻度の増加や被害規模の拡大は、全国的に増加し、岩手県でも平成28年8月の台風10号により岩泉町に甚大な被害を及ぼしており、市民の防災に対する関心が高まるとともに大きな不安を与えています。また、四十四田ダムと御所ダムの能力を上回る洪水が発生した場合、本市中心部を含む市街地に甚大な浸水被害を受けることが想定され、その影響は、計り知れないものとなりますことから、両ダムのさらなる機能強化が望まれているところです。

つきましては、盛岡市の安全で安心な地域づくりに向け、「ダム再生ビジョン」に基づく、「四十四田ダムのかさ上げ」など治水機能の強化を行う「北上川上流ダム再生事業」の着実な実施と促進を要望いたします。

# 北上川上流ダム再生事業



## 都市基盤河川改修事業の推進について

盛岡市内を貫流する一級河川北上川水系みなみかわ南川は、毎年、降雨期には洪水による浸水被害が懸念されており、沿川住民の不安を解消するため、早期の河川改修が強く要望されております。

本河川は、盛岡南新都市土地区画整理事業の完工による市街化の進展に伴い、雨水の流入量が増加しており、市民の安全安心な生活を確保するため、整備が急務となっております。また、道明地区土地区画整理事業及び同地区に隣接して実施されている生活環境整備事業、産業等用地整備事業（道明地区）においては、早期の完成を目指し整備等が進められており、これらの事業と本河川の整備については、一体で取組むことが必要不可欠であります。

つきましては、都市基盤河川改修事業の着実な推進について御配慮いただきたく要望いたします。

# 都市基盤河川改修事業



H25.8.9大雨洪水により、道路冠水被害  
(津志田地区)



## 【要望効果】

河川改修により、市民の安全安心な生活の確保と快適でうるおいのある環境の創出が図られる。

## 盛岡市土地区画整理事業の推進について

盛岡市の土地区画整理事業は、地区の恵まれた環境を生かしながら、機能的で魅力あるコンパクトで持続可能なまちづくりのため、おおた太田地区、どうみょう道明地区及びとなんちゅうおうだいさん都南中央第三地区で事業を実施しております。

また、事業区域の縮小により、土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域においては、道路整備を中心として事業を実施しております。

本市においては、立地適正化計画も作成中であり、事業を早期完了し、居住誘導区域として、住民の生活利便性の維持・向上、行政サービスの効率化等による行政コストの削減等、効果の早期発現を目指しているところです。

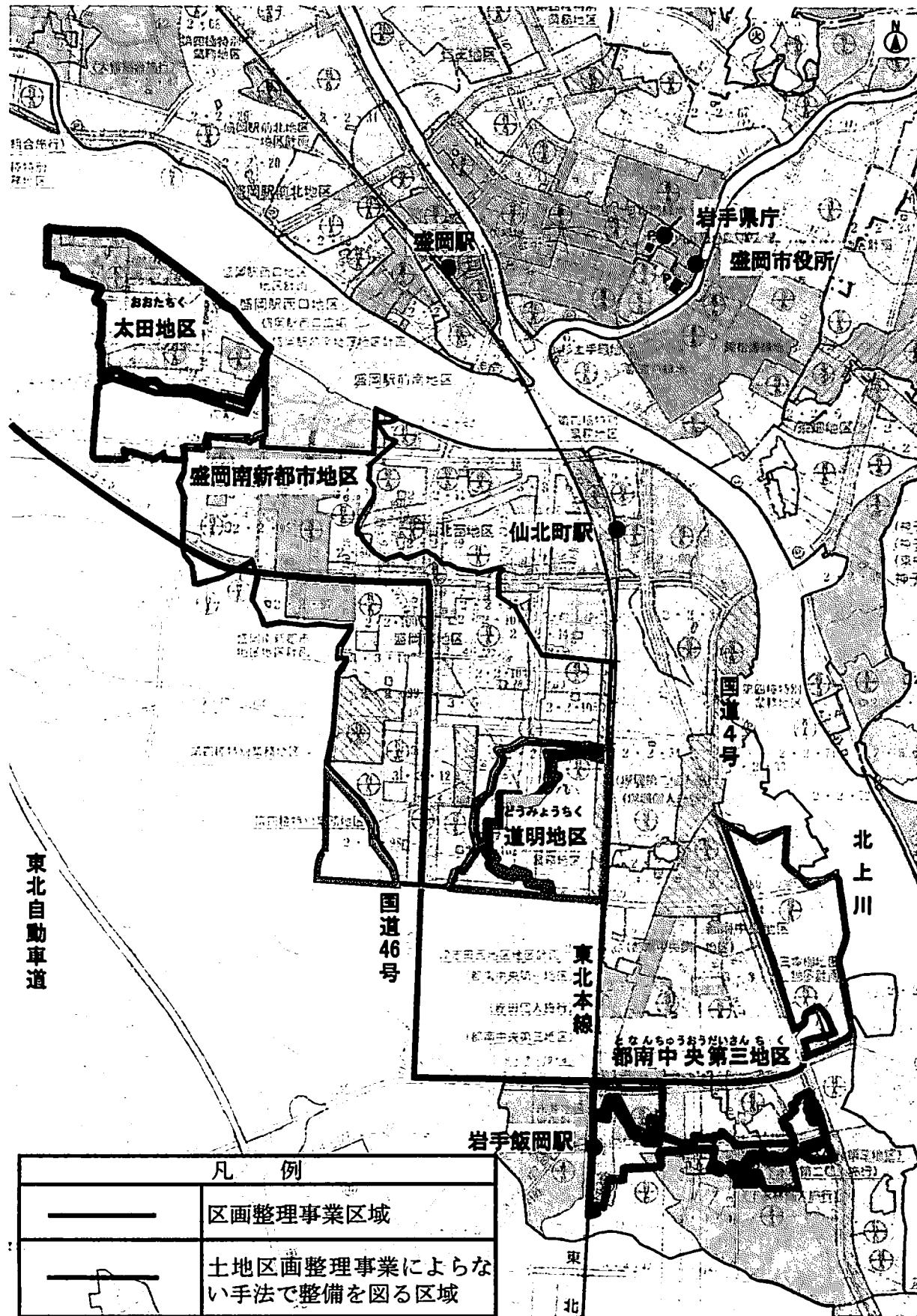
しかしながら、完成までは未だに多額の事業費が見込まれること、地元から早期完成が要望されていること、土地区画整理事業と合わせたエリア全体の早期効果発現を行うべく、財源を確保して一層の事業推進を図る必要があります。

つきましては、盛岡市土地区画整理事業の着実な推進と土地区画整理事業によらない区域の生活環境改善推進について、予算の優先的な確保に御配慮いただきたく要望いたします。

地区名	<small>おおた</small> 太田	<small>どうみょう</small> 道明	<small>となんちゅうおうだいさん</small> 都南中央第三
施行面積 (ha)	区画整理 77.2	区画整理 21.7 区画整理外 48.9 計 70.6	区画整理 26.5 区画整理外 17.5 計 44.0
事業期間	H 5～R 6 (清算 R 11)	H15～R 5 (清算 R 10)	H12～R 4 (清算 R 9)
総事業費 (百万円)	区画整理 31,288	区画整理 5,620 区画整理外 2,992 計 8,612	区画整理 8,140 区画整理外 474 計 8,614
今後の見通し	～R 6まで (6年)	～R 5まで (5年)	～R 4まで (4年)
残事業費 (百万円)	区画整理 7,978	区画整理 1,305 区画整理外 1,971 計 3,276	区画整理 1,862 区画整理外 184 計 2,046

※ 上表の「区画整理外」は「土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域」

## 盛岡市 土地区画整理等事業 位置図



凡 例

—	区画整理事業区域
—	土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域

## 盛岡地区かわまちづくり事業の促進について

盛岡市内の直轄管理河川（北上川、中津川及び黒石川）は、着実な整備が進められ、市街地に配慮した快適でうるおいのある水辺空間の創出など、積極的に取り組んでいただき深く感謝しております。

その中でも北上川や中津川におきましては、平成21年5月に盛岡地区が、かわまちづくり支援制度に認定され、学識経験者や市民活動関係者などで構成された懇談会を開催しながら、水辺空間を活用した観光アクセスの整備、案内板の設置による利便性の向上など、市民や観光客の利用向上を図る内容が盛り込まれた「盛岡地区かわまちづくり計画」が平成22年3月に策定されたところです。

また、平成25年11月に同計画の変更を行い、新たに、河川利用上の阻害解消を図るための河道整正等の整備を行うこととされ、さらに平成28年度においては、新たに北上川における舟運による新たな賑わいの創出が計画に追加され、整備期間も令和2年度まで延長しております。

本市では、この事業により中心市街地を流れる北上川、中津川の河川空間が観光アクセスや水辺の賑わいの創出の場として更なる活用が図られ、市民協働活動の推進や中心市街地の活性化にも大きく寄与するものと考えております。今後においても、市民団体が主体となって取り組んでいる舟運事業への協力や、より魅力的な水辺空間の創出に向けた事業の継続を期待しております。

つきましては、引き続き国と盛岡市が協働で行う、「盛岡地区かわまちづくり」事業の促進について御配慮いただきたく要望いたします。

# もりおか 「盛岡地区かわまちづくり」(直轄・盛岡市)

いわてけん もりおかし  
市町村名 : 岩手県 盛岡市  
きたかみがわ きたかみがわ なかつかわ  
対象河川 : 北上川水系 北上川・中津川

## 1. 概要

盛岡市では、「盛岡市総合計画」等において、観光の重要な資源と位置づけられている北上川・中津川と城下町としての歴史性を活かしたまちづくりが一体的に進められており、これまでに水辺プラザなど親水空間の整備が行われ、市街地内の水辺拠点として親しまれてきた。

本計画では、国土交通省が河川管理用通路・階段、親水護岸の整備や河道の整正等を行うとともに、盛岡市が中津川に隣接する盛岡城跡公園周辺や北上川沿いの歴史的街なみ整備等を行うことにより、良好な水辺空間を創出し、地域の活性化を推進する。

## 2. 整備内容

- ・管理用通路
- ・低水護岸
- ・避難誘導看板
- ・管理用坂路
- ・管理用階段
- ・高水護岸
- ・河道整正
- ・親水護岸

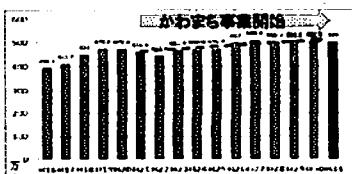
事業実施期間:H20～R7  
(整備期間:H21～R2)

【事業工程】

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
事業主体:盛岡市 (拠点施設、周辺整備)		事業実施																
事業主体:国土交通省 (拠点空間、敷坂路等)			設計 整備															モニタリング



盛岡市の年間入込客数の推移と目標



## 盛岡市公共下水道事業の推進について

本市では、人口密集地域については、生活環境整備事業として位置づけ、生活環境の改善のため未普及対策事業を推進しております。

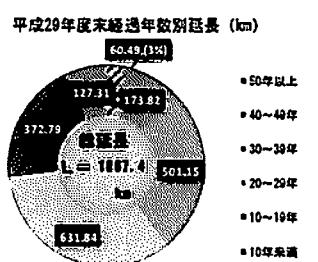
また、浸水対策事業については、災害の発生防止や甚大な災害の未然防止の観点から幹線整備及び面整備を進めております。

早期整備要望も多く、公共下水道事業を継続して推進させる必要がありますが、地方財政は一段と厳しい状況で、さらに、耐用年数を超過している下水道施設の更新の課題も抱えており、耐震化も含めた改築更新の必要性が高まっている状況にあります。

特に、改築更新には多額の費用が必要とされます。下水道施設の改築更新への事業費支援がなくなった場合、人口減少が本格化する中、下水道使用料の大幅な引き上げについて理解が得られずに、施設の改築更新が進められなくなることが想定され、下水道の老朽化による道路陥没や下水処理の機能停止等により住民生活に重大な影響が及ぶおそれがあります。

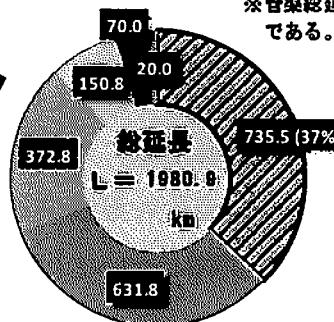
つきましては、下水道の公共的役割に対する観点から下水道施設の改築更新事業への継続的な事業費支援について要望いたします。

## 盛岡市の下水道事業について



令和19年度末経年別延長 (km)

\*管渠総延長は見込み値である。



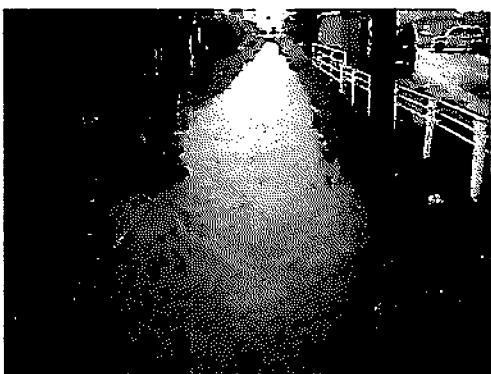
盛

(雨水)

市街地での浸水対策が至急の課題となっております。バード整備とソフト対策を連動した事業の推進を図る必要があります。

50年経過管路が、年々増え続けています。ストックマネジメント事業の推進が緊急課題となっています。

平成25年8月 大雨状況



中心市街地の合流地域で被害が想定される



北上川右岸第二排水区

鶴助堀排水区

北上川右岸第三排水区

このほか、盛岡市では、未普及対策事業の推進や地震対策事業の推進に努めてまいります。

## **循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について**

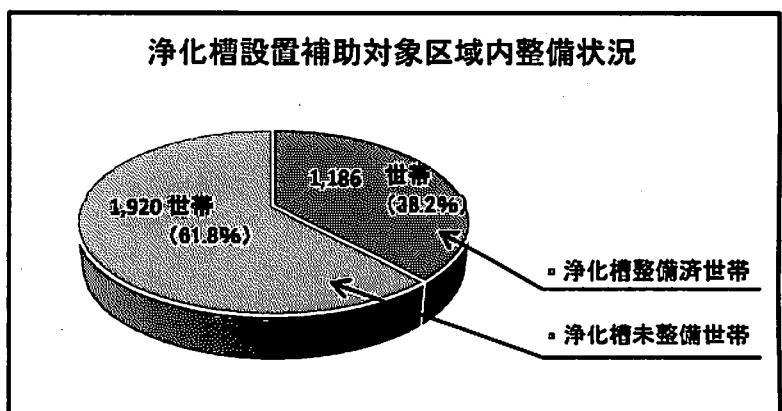
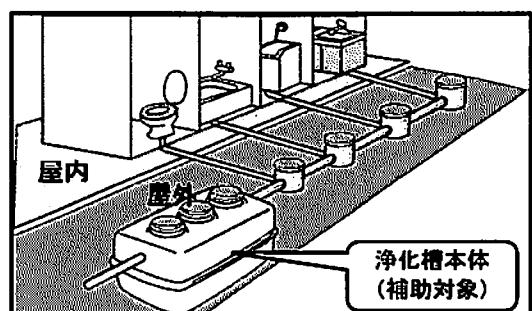
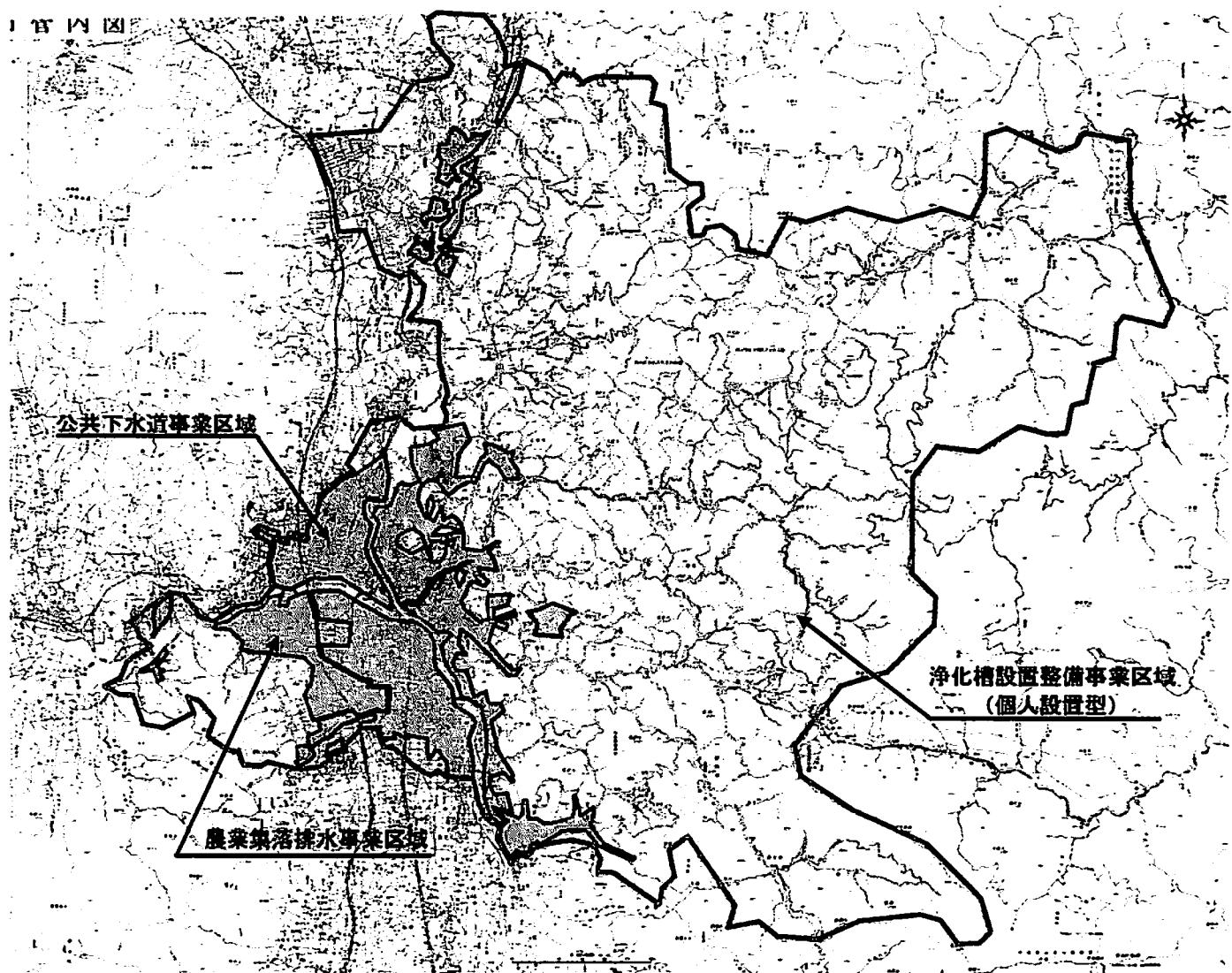
盛岡市は、健全で良好な水環境の創出を目指して、公共用水域の水質保全及び衛生的な生活環境の確保を図るため、「公共下水道」「農業集落排水」「浄化槽」の3事業により汚水処理事業を推進しているところであります。

平成26年1月の国土交通省、農林水産省及び環境省からの3省通知を踏まえ、平成27年度に公共下水道の計画区域を縮小し、浄化槽による整備区域を拡大することを柱とした「盛岡市汚水処理基本計画」を策定するとともに、平成37年度の汚水処理施設の概成を目指す「盛岡市汚水処理施設概成アクションプラン」を平成28年度に策定し、鋭意取り組んでいるところであります。

浄化槽による整備区域については、行政区域面積約88,647ヘクタールの約9割を占めており、人口集積が低い地域であります。平成29年度末時点で当該整備区域内人口のうち約38%の整備率に留まっており、より一層の整備促進が必要となっております。

つきましては、盛岡市浄化槽設置整備事業の一層の推進を図るため、引き続き浄化槽整備における循環型社会形成推進交付金の予算を確保していただきたく要望いたします。

## 循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備区域図



※ 世帯当たり人員は3.06人/世帯(H27国勢調査ベース)として算出。

# もりおかじょうあと 国指定史跡盛岡城跡保存整備事業の推進について

史跡盛岡城跡につきましては、都心の魅力を高め、中心市街地の活性化を図る重要な位置付けにあり、史跡整備によるまちづくりの推進が必要となっております。盛岡市のシンボルとして、市民はもとより本市を訪れる多くの方に親しまれており、その保存整備に鋭意努力しているところですが、史跡の主要な特質である石垣に著しい傷みの箇所があり、抜本的な解体修復工事が必要とされ、昭和 59 年度から国庫補助事業として修復工事を進めてまいりました。

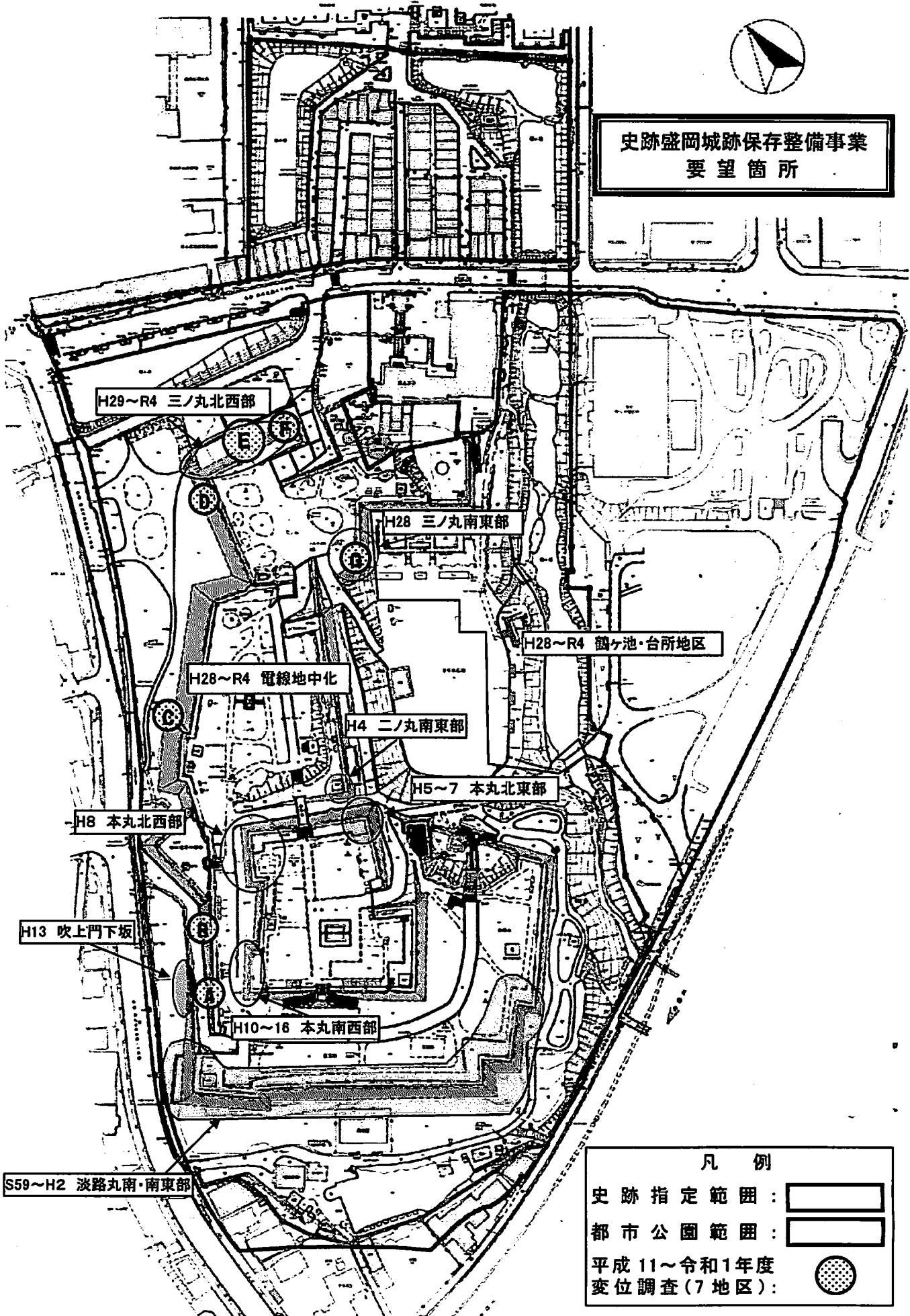
また、平成 23 年度には「史跡盛岡城跡保存管理計画」、平成 24 年度に「史跡盛岡城跡整備基本計画」、さらに平成 28 年度に「史跡盛岡城跡植栽管理基本計画」を策定しながら、石垣変位量の測定などの各種調査と研究を行ってまいりました。

この間、史跡の適正な保存管理及び活用事業が順調に推移しておりますことに對しまして、深く感謝申し上げます。

盛岡城跡では、現在、令和 4 年までの第 1 期整備期間において三ノ丸地区の石垣修復等を行っているところですが、来年度に解体工事の大きな山場を迎えております。

今後も、石垣修復事業を中心としながら、国史跡の近世城郭を理解し、歴史公園や都市公園として親しむことができるような環境の整備を図ってまいります。

つきましては、国指定史跡盛岡城跡の保存整備事業推進に係る国庫補助金の交付について要望いたします。



史跡盛岡城跡保存整備事業 事業計画図 (1:2,000)

## **防衛施設周辺対策事業による防災行政無線の整備推進について**

平成 30 年度に採択されました防衛施設周辺対策事業による防災行政無線設備の更新整備につきましては、今年度におきましても補助金交付の決定をいただき厚く御礼申し上げます。

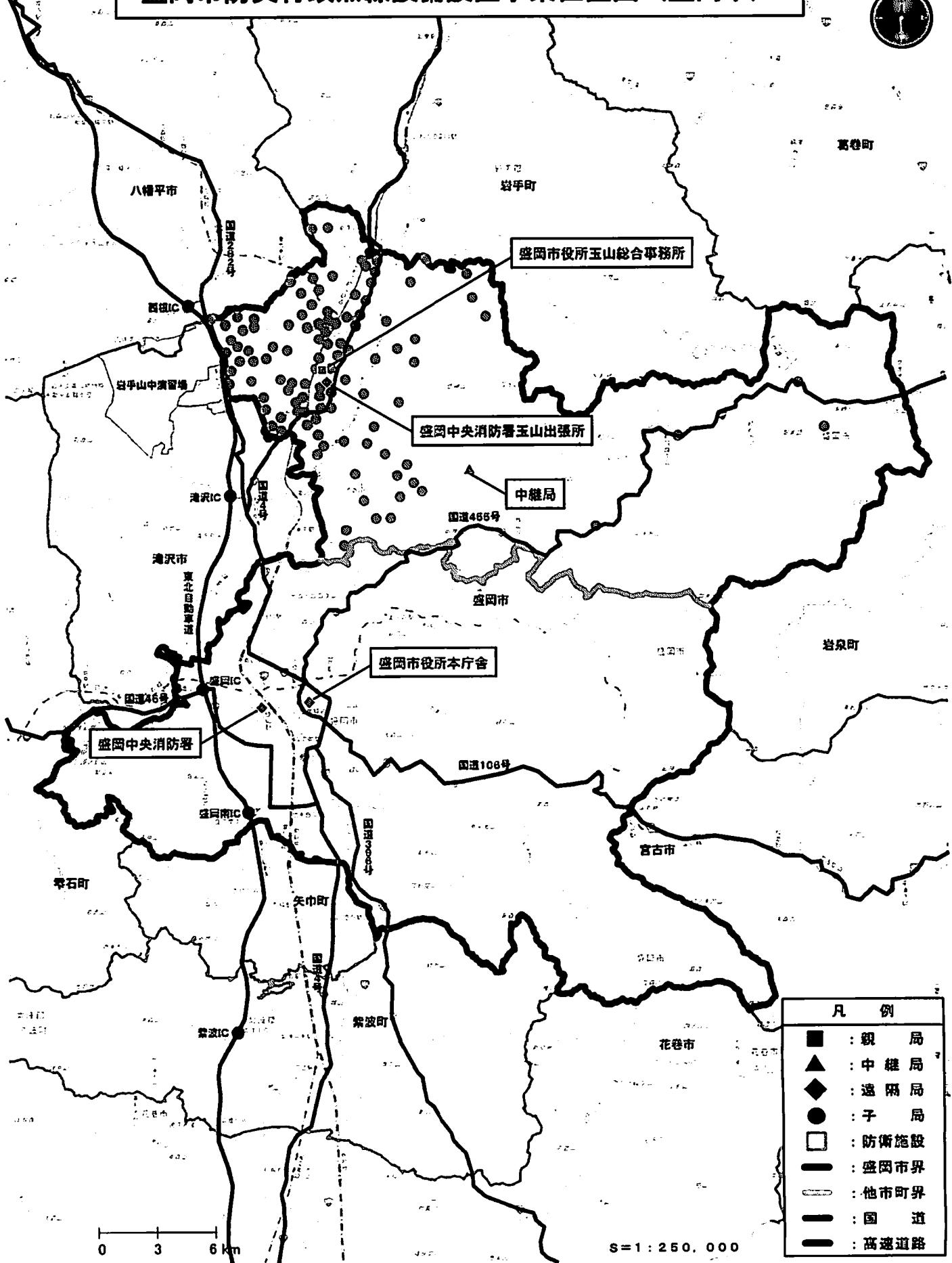
さて、防衛施設周辺の自治体は、我が国の防衛基盤である基地の存続を支援し、その安定的使用を確保するため、基地周辺住民の理解と協力を得る努力を傾注しております。本市玉山地域は、陸上自衛隊岩手駐屯地、同岩手山中演習場に隣接しており、本演習場では、各種火器及び戦車の実射等、実戦を想定した演習が展開され、過去には日米共同訓練も実施されるなど、内容によっては周辺住民の大きな不安要素となりうる状況も想定されます。演習場が地域との共存を図っていくためには、引き続き、防衛施設の周辺整備を行うなど、民生安定化対策を講ずる必要がありますが、周辺住民が受ける影響を防止し、軽減するための対策として多くの財政需要が生じております。

本市玉山地域の防災行政無線は、平成元年から平成 5 年にかけて民生安定施設整備事業により配備、平成 6 年には単費で子局を追加配備し、周辺住民に対する演習内容等の周知のほか、災害時における避難勧告など緊急情報の伝達や各種の行政情報の広報のための媒体としても広く活用するなど、地域の民生安定化及び安心・安全などのための対策を講じてきたところであります。

しかしながら、既設の防災行政無線については、老朽化により住民への情報提供等に支障が生じており、併せて、令和 4 年 11 月を期限とするデジタル化への切替えが必要となっております。

つきましては、引き続き、防災行政無線設備の更新及びデジタル化整備の着実な推進について、御配慮いただきたく要望いたします。

# 盛岡市防災行政無線設備設置事業位置図（盛岡市）



## かりや 防衛施設周辺対策事業による刈屋地区水道施設更新の 推進について

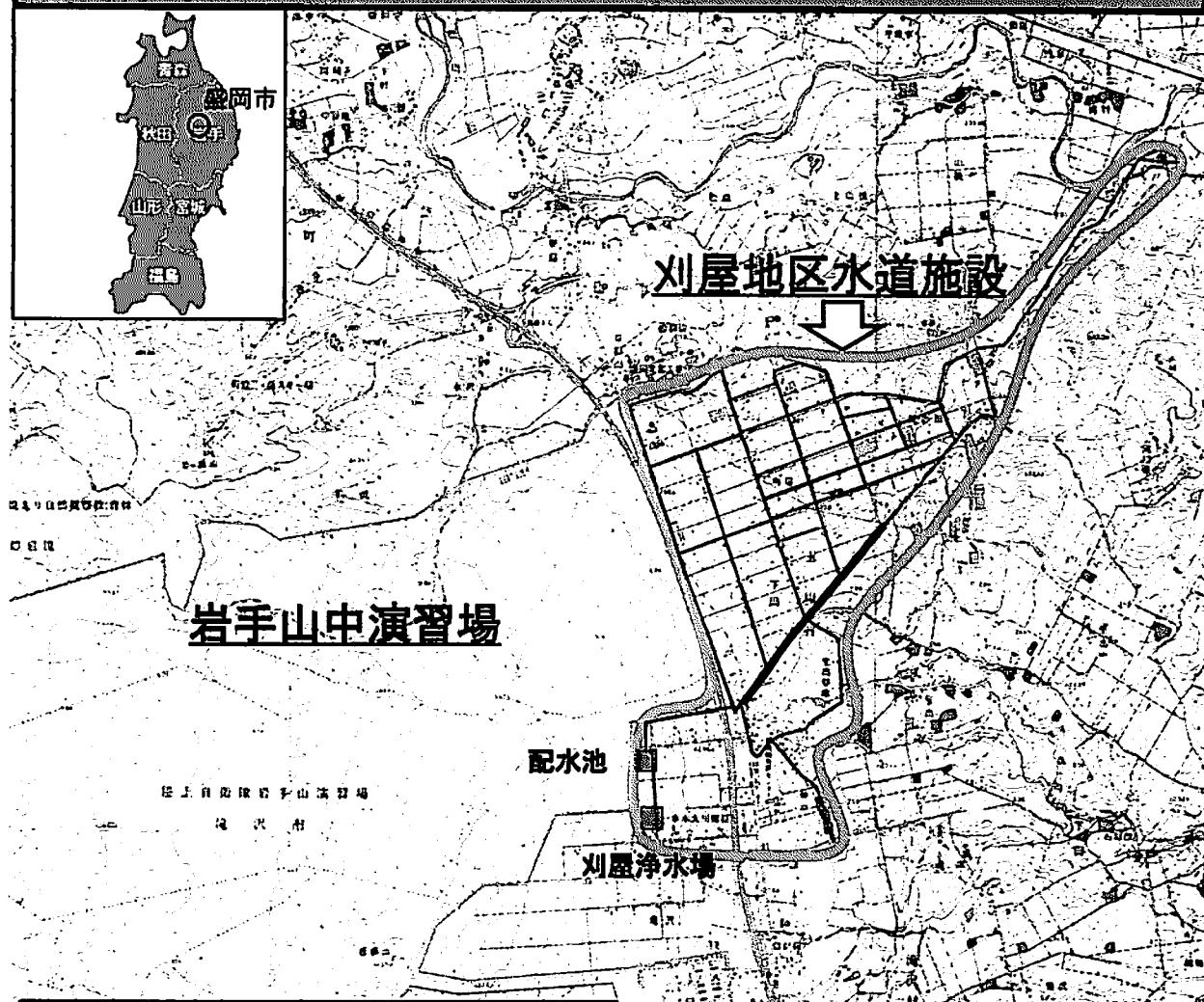
防衛施設周辺対策事業（刈屋地区水道施設）に対しまして、補助金の採択をいただき厚く御礼申し上げます。

刈屋地区の水道施設は、陸上自衛隊岩手山中演習場内での森林の伐開等により、地下水位が低下し、刈屋地区の自家用井戸の水位低下や枯渇が確認されたことから、岩手山中演習場の周辺障害防止対策事業として、昭和52年度から昭和60年度にかけて刈屋地区簡易水道として整備したものです。しかしながら、整備から約40年が経過し、管路の老朽化が著しく頻繁に漏水事故が発生しており、迅速な更新が必要な状況となっております。

さらに、全国的には、国の方針に基づき大規模地震等の自然災害を踏まえた水道施設の耐震化を進めており、本市としても、地震に強い水道を目指した耐震化が急務となっております。

つきましては、刈屋地区の水道施設更新を推進し、当該地区の安定給水の確保を図るため、引き続き、予算を確保していただきたく要望いたします。

## 刈屋地区水道施設 【岩手山中演習場：盛岡市】



### 要望事業概要

- 事業名 : 刈屋地区水道施設
- 補助事業者名 : 盛岡市長
- 防衛施設名 : 岩手山中演習場
- 事業内容 : 飲料水対策（再改修）
  - ※実績 : S52～S60
- 根拠法令 : 環境整備法第3条第1項
- 全体計画
  - ・事業費 : 1,837,527千円  
補助額 : 1,837,527千円（補助率 : 10/10）
  - ・事業量 : 送配水管布設工 L=27,840m
- 計画年次 : 令和元年度～令和7年度
- 事業計画 : 令和元年度 実施設計  
令和2年度以降 送配水管布設工 L=27,840m  
消火栓設置工 32基
- 令和2年度要望
  - ・事業費 : 118,622千円  
補助額 : 118,622千円
  - ・事業内容 : 配水管布設工 L=1,716m  
消火栓設置工 3基

### 凡例

	防衛施設
	越界が防止又は軽減される区域
	令和2年度施工予定箇所
	令和3年度以降

現況



# **県予算に対する統一要望事項**

## スポーツ推進施策の充実強化について

いわてグルージャ盛岡は、県内全33市町村をホームタウンとし、今シーズンからチーム名を変え、県民の心身の健全な発達と社会の発展に寄与するためサッカーの普及に努め、スポーツを通じ県民が幸せになれる環境を作り上げることを目指し活動しております。

Jリーグは、スタジアムの整備要件など5つのクラブライセンス審査基準を設け、シーズンごとにライセンスの交付を行っておりますが、岩手県を本拠地として活動しているサッカーJ3の当該チームに関した新たな対応が求められております。

具体的には、スタジアムの整備要件が変更され、照明設備を2022年6月までに整備しなければその後のライセンスの交付を受けられなくなるというものです。また、J2、J1へ昇格するためには、それぞれ観客席を1万人、1万5千人とすることや大型映像装置の整備等がスタジアム要件として求められております。

岩手県においては、平成30年度に2019～2023年度の5年を計画期間とする「岩手県スポーツ推進計画」を策定し、「地域を活性化させるスポーツの推進」を施策の柱の一つとし、「スポーツコミュニケーションやトップ・プロスポーツチームと連携した地域活性化の推進」を施策に掲げ、地域の活力につながるスポーツの推進として、トップ・プロスポーツチームと連携した地域活性化の推進に取り組まれております。

本県においてプロサッカーチームは、いわてグルージャ盛岡が活動するのみであり、地域の活性化に大きく貢献ができるスポーツ施策のさらなる推進を図るために、岩手県全体をホームタウンとし、県民を挙げて応援している当該チームのスタジアム整備について次のとおり要望いたします。

- 1 Jリーグライセンス審査基準の変更に伴うスタジアム整備について、全県的な視点で支援をいただきたいこと。

## **水道施設耐震化等推進事業費補助金の確保について**

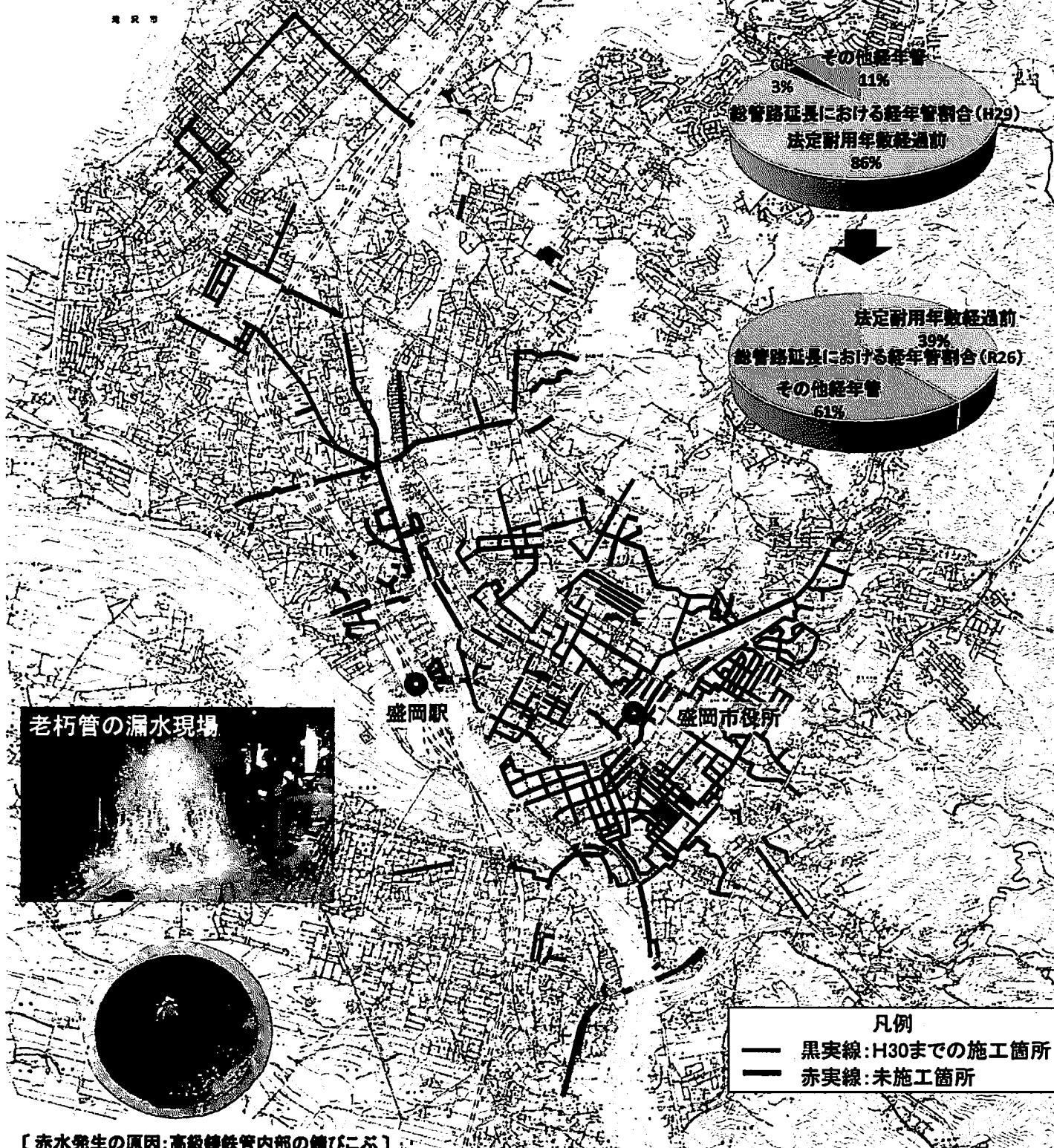
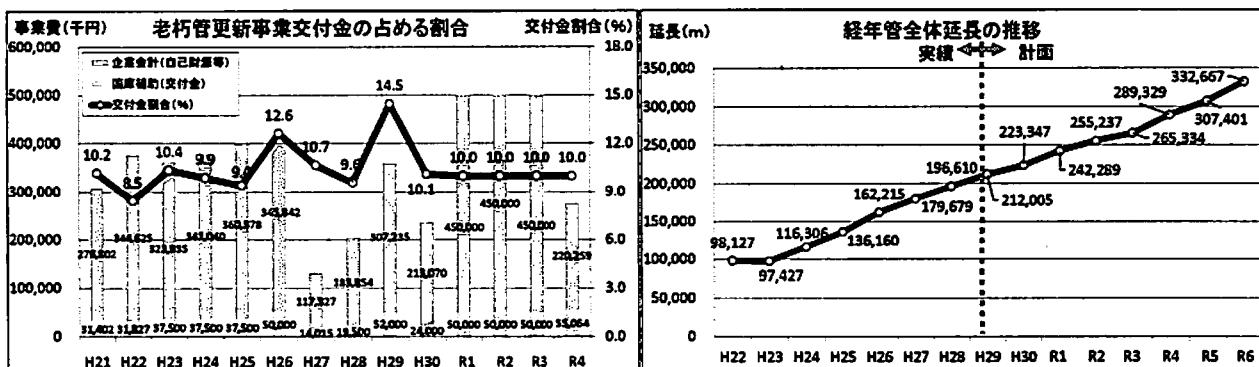
水道は市民生活や産業活動を支える極めて重要な基盤施設であり、大規模地震や水源汚染等による災害が発生した場合においても、水道事業者には飲料水等生活に必要な水を供給することが強く求められています。

また、高度経済成長期前後に整備された水道施設は老朽化の進行が著しく、計画的な施設更新が必要となっています。こうしたことから、当市においては、老朽施設の更新、基幹病院や要援護者収容施設までの配水管の耐震化を重要給水施設配水管整備事業として重点的に進めております。その財源については、「水道施設耐震化等推進事業費補助金（交付金）」を活用することにより、施設整備を推進しているところですが、必要な財源確保は大きな課題となっています。

一方で、「水道施設耐震化等推進事業費補助金（交付金）」による老朽管更新事業においては、配水管更新に伴う給水管の繋ぎ替えや消火栓設置、硬質ポリ塩化ビニル管は補助対象外となっている状況です。

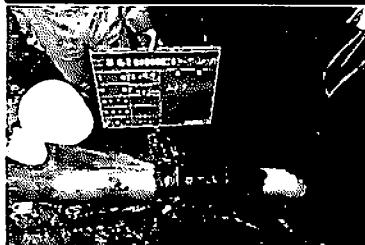
つきましては、その補助制度の特性を存分に發揮し、滞りなく事業を推進するため、生活基盤施設耐震化等交付金の予算確保と補助対象工種の拡大について、国に働きかけていただくとともに、水道施設耐震化等推進事業費補助金の予算確保と要望額のとおり補助を要望いたします。

## 老朽管更新事業計画図



## 水道施設耐震化等推進事業費補助金の確保について

### (1)-1 水道管路緊急改善事業 (導水管更新)



生出浄水場導水管漏水状況

- 老朽化した導水管を更新し耐震化を図るもの  
R2年度  
更新延長 DIP  $\phi 200 \times 300m$   
事業費 21,000千円

凡 例  
(1)-1 R2施工箇所  
(1)-2 R1施工箇所  
(2) R1～R2での施工箇所  
(3) R1～R2での施工箇所

国道4号

東北自動車道

姫神山

米内川

御所ダム

JR田沢湖線

早石川

御所湖

綱取ダム

中津川

築川ダム(建設中)

築川

北上川

### (2)配水池 (配水池更新)

- 配水調整能力の向上及び突発事故対応のため配水池を耐震化し整備(更新)するもの

R1年度 事業費150,000千円  
R2年度 事業費150,000千円

沢田第二配水場

### (3)高度浄水施設等整備費 (粉末活性炭施設整備)

- 原水水質変化による異臭味に対応するため粉末活性炭処理施設を建設するもの

R1年度 事業費164,672千円  
R2年度 事業費247,009千円

沢田浄水場

### (1)-2 水道管路緊急改善事業 (導水管更新)

- 老朽化した導水管を更新し耐震化を図るもの

R1年度  
更新延長 DIP  $\phi 800 \times 300m$   
事業費 336,380千円

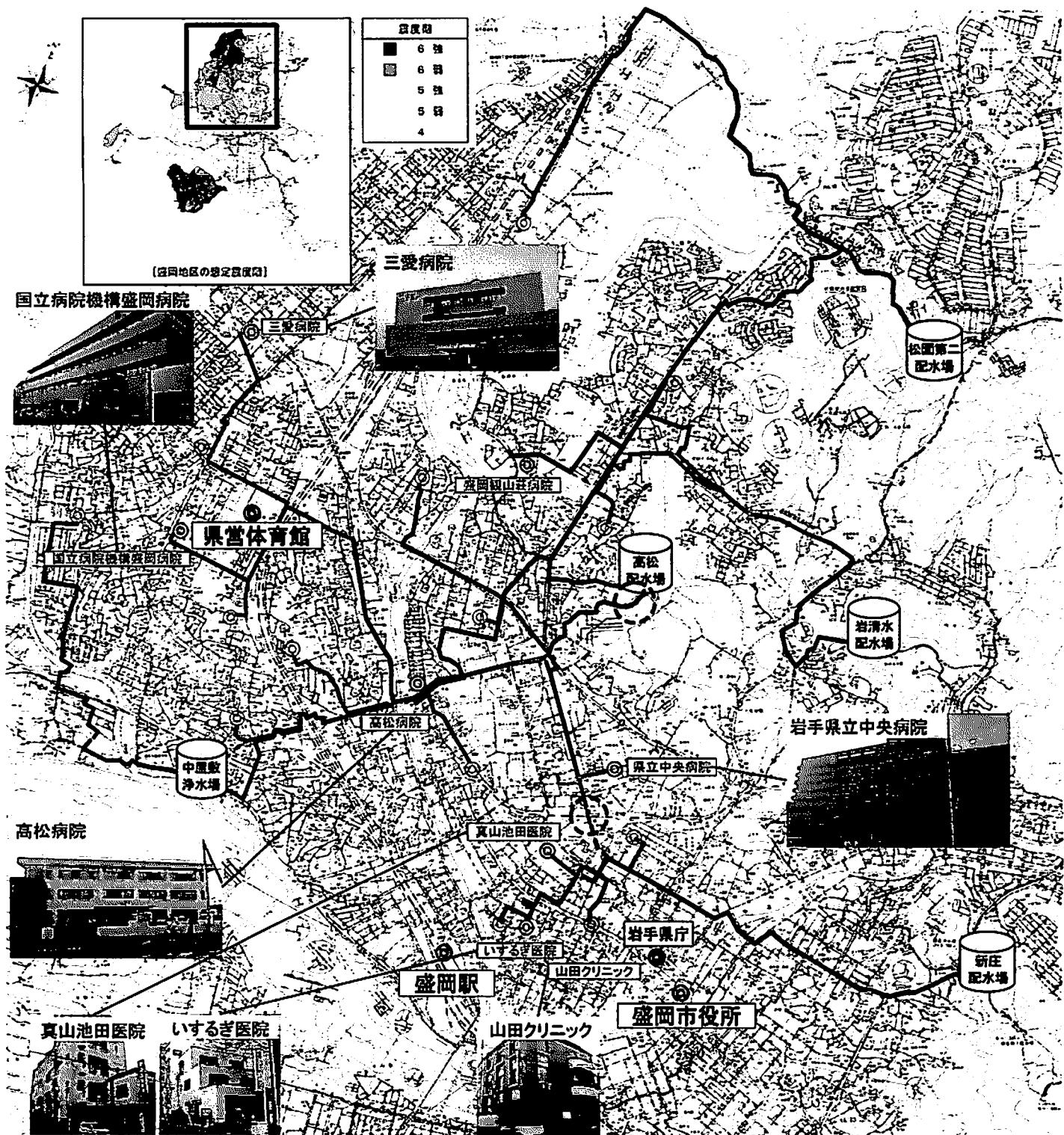
導水管

老朽管

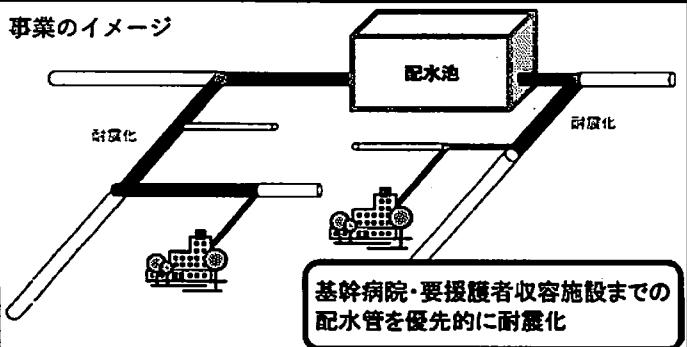
新設管

## 水道施設耐震化等推進事業費補助金の確保について

# 重要給水施設配水管整備事業計画図



事業のイメージ



## 凡例

- 黒実線：H30までの施工箇所
  - 青実線：H30継越箇所（契約済）
  - 青破線：H30継越箇所（未契約）
  - 赤実線：未施工箇所
  - 緑実線：R1施工箇所
  - 赤囲い：R2施工予定箇所
  - ◎ : 基幹病院
  - ◎ : 要援護者收容施設

## **社会资本整備総合交付金及び防災・安全交付金に係る 事業の推進について**

盛岡市では、「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」を将来像に掲げ、<sup>なたやちょう</sup> 鈴屋町をはじめとする歴史的街並みを活用した地域の活性化や、時代の変化に合わせた新たな手法を盛り込んだ土地区画整理事業等による都市基盤の整備、「もりおか交通戦略」による都市活動を支える交通を中心とした交通環境の構築などの各種施策のほか、地域の活力ある社会経済の維持を目的に、東日本では初となる盛岡広域8市町による「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、その推進に取り組んでいるところであります。

このような状況の下、社会资本整備総合交付金及び防災・安全交付金は、地域の実情に応じて柔軟な活用が可能な創意工夫を生かせる一括交付金であり、本市においても、住民の安全で快適な生活環境の確保等、市民生活の向上等に大きく寄与しております。整備によるストック効果としては、ここ数年本市への観光客入込数が増加しており、今後においても安全・安心な都市基盤施設の構築はもとより、交通ネットワークの構築による経済活動における生産性の向上や観光等の交流人口増加による賑わいの創出に繋がるものと期待しております。

つきましては、本交付金の特性を存分に發揮し、滞りなく事業を推進するため、事業費の確保について要望いたします。

### **<盛岡市の社会资本整備総合交付金による主な事業>**

道路事業、街路事業、河川事業、住宅事業、都市公園事業、土地区画整理事業、下水道事業

## 一般国道 106 号「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」の整備促進及び直轄指定区間編入について

宮古盛岡横断道路（一般国道 106 号）は、太平洋沿岸の重要港湾宮古港を有する宮古市と県都盛岡市を結ぶ延長約 66 km の路線であり、東日本大震災の際には、緊急輸送道路の「くしの歯作戦」の一路線として、迅速な救助活動、救援物資の搬送ルートとして利用され、現在「宮古盛岡横断道路（復興支援道路）」として、国の権限代行により整備にご尽力いただいているところです。

本路線は、宮古・盛岡間の移動時間が短縮され、物流の効率化促進による地域産業の活性化や周遊観光圏域の拡大による経済効果のほか、沿岸部から内陸部の高次医療施設への救急搬送や医療活動の安定性・迅速性の確保など、「ストック効果」の発揮が大いに見込める路線であります。

特にも、令和元年度は都南川目道路が開通予定であり、一般国道 4 号及び 46 号へのアクセスが飛躍的に向上する見込みです。

平成 30 年 6 月 22 日には、宮古一室蘭フェリーが運行開始し、港湾と道路の整備によって、今後一層の交流・物流の活発化が期待されているところであります。

一方、本路線は、交通事故等による通行止めが多数発生し、近隣に迂回路もないことから、その安全性や信頼性に大きな課題を抱えております。また、平成 28 年 8 月の台風第 10 号の影響により、11 日間の通行止めが発生するなど、災害に対する脆弱性の解消が急務となっています。

また、北上高地特有の急峻な地形のため、トンネルや高架橋による整備により、高度な維持管理に関する技術が必要とされます。また、全区間延長の約 40% を超える区間が新設区間であり、新設区間の現道における既存集落については、生活道路としての機能確保、バス路線維持等の自治体としての新たな役割が必要と見込まれており、国と地方自治体の役割分担による適切な管理が望されます。

つきましては、東日本大震災からの早期復興に向け、安全で信頼性の高い高規格道路として、災害時や冬期間の道路交通の確保を一段と確かなものとし、

三陸沿岸地区と内陸との強力な連携により北東北地域の産業・経済・文化の交流、豊かな地域資源を活かした観光誘客等の促進を図るとともに、国と地方自治体の役割分担による適切な維持管理が図られるよう、次のことを要望いたします。

#### 記

- 1 一般国道 106 号「宮古盛岡横断道路(復興支援道路)」の整備促進と全線高規格化を図ること。
- 2 一般国道 106 号「宮古盛岡横断道路(復興支援道路)」については、国が直轄で管理すること。

## 一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の 4車線化の整備促進について

一般国道46号「盛岡西バイパス」は、盛岡都市圏西側の環状道路機能を担うとともに、一般国道106号と連絡し、秋田市～盛岡市～宮古市を結ぶ横軸連携を形成する重要な路線となっております。

「盛岡西バイパス」は、平成25年に主要地方道上米内湯沢線まで7.8kmが開通しておりますが、本宮字泉屋敷から上厨川字前潟の区間約3.6kmが2車線となっており、国のご尽力により4車線化の整備を行っていただいているところです。平成25年の開通以降、交通量は増加しており、現在、3万3千台を超えるなど確実に幹線道路としての機能が発揮されております。

一方、盛岡西バイパス沿線では、盛南開発などの都市開発と盛岡西バイパス整備との相乗効果により、大規模商業施設の立地が相次ぎ、沿線の人口も大きく伸びているなど市街地の形成が急速に進んでいます。

また、復興支援道路として整備が進められている宮古盛岡横断道路「都南川目道路」が、令和元年度に開通が予定されるとともに、新たなものづくりの拠点となる新産業等用地整備が進捗していることや、プロ野球1軍公式戦が開催可能な2万人規模の新野球場について、令和5年度供用開始に向け、岩手県と本市の共同で事業を進めていることなどから、今後も、交通需要が増加する状況にあります。

つきましては、北東北の東西連携の強化をはじめ、物流の強化や渋滞緩和、都市機能の集積強化を図るため、一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化の整備促進について、国に働きかけていただきたく強く要望いたします。

## 一般国道4号「盛岡南道路」の事業化に向けた調査促進について

一般国道4号は、岩手県の内陸部を南北に縦貫している大動脈であり、盛岡広域都市圏における円滑な交通の確保と都市の発展に大きな役割を担う重要な路線となっております。

盛岡市は盛岡広域圏における生活・経済の中心であり、盛岡南地区においては、盛南開発により人口が増加し、「盛岡西バイパス」沿線等へ商業施設が集積しており、市街化が急速に進展しております。さらに、矢巾町や紫波町とは通勤通学などの流動が高く、盛岡市と一体の生活圏が形成されており交通需要が大きくなっている状況です。

このため、国道4号においては、国道46号以南の交通量が増加し、著しい渋滞が発生している状況にあり、宮古盛岡横断道路の開通後には交通量がさらに増加することが想定されます。

こうした中、当地区には、岩手流通センター、盛岡貨物ターミナル及び盛岡中央卸売市場等が立地し、物流拠点が形成されており、国道4号の渋滞が物流の大きな支障になっております。

また、令和元年9月には、救急医療の中核を担う岩手医科大学附属病院が矢巾町で開院しますが、病院を中心とした道路ネットワークが十分に形成されていないことから、アクセス性の向上が重要な課題となっております。さらに、道明地区においては新産業等用地の開発が進捗していることや、盛岡南公園にはプロ野球1軍公式戦が開催可能な2万人規模の新野球場について、令和5年度供用開始に向け、岩手県と本市の共同で事業を進めていることなどから、今後においても交通需要の増加が見込まれるため、主要幹線道路の必要性が高まっている状況です。

つきましては、盛岡市を中心とした都市圏の圏域人口の維持や持続可能な経済・産業圏域の形成、高次都市機能の集約強化、そして「命を守る医療体系」を機能させるとともに、これらを支える渋滞のない道路ネットワークを形成するため、一般国道4号「盛岡南道路」の「計画段階評価を進めるための調査」促進につい

て、国に働きかけていただきたく強く要望いたします。

# 道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点を目指し、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところあります。

しかしながら、歩行者の安全確保や道路事情の改善を図るために、道路整備は未だ十分とはいえない状況にあり、広域連携等の推進を図るために幹線道路をはじめとして、学校、警察、道路管理者による通学路の緊急合同点検結果を踏まえた交通安全施設の整備が急務となっております。

盛岡広域圏では、東日本で初となる連携中枢都市圏として、「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、人口減少、少子高齢社会に向けた取組みを進めております。

滝沢市、矢巾町との結びつきやネットワーク強化により両市町との一体的な発展を図るため、都市圏ビジョンに位置付けられた基幹道路の整備が求められております。

また、市街地を3河川（北上川、中津川及び零石川）が流れ、多くの橋を有しておりますが老朽化しており、平成25年度に制定された「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」を踏まえた、災害時にも対応した適切な長寿命化対策が課題となっております。

つきましては、道路局所管盛岡市道路整備事業の着実な推進について要望いたします。

## 1 道路局所管の盛岡市道路整備事業の着実な推進

区分	路 線 名	要望地区	工 種
継続	津志田白沢線 (連携中枢都市圏路線)	永井地区	道路改築
"	谷地頭線 (連携中枢都市圏路線)	厨川地区	"
"	岩手公園開運橋線	菜園地区	交通安全、無電柱化

//	ひがしなかのかど 東中野門線	ひがしなかの 東中野地区	交通安全
//	いわていいおかえきとうざいじゅうつうろ 岩手飯岡駅東西自由通路	ながい 永井地区	//

## **一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備について**

一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備につきましては、平成7年に事業用地の一部を先行取得しておりましたが、平成27年4月の渋民バイパスの全線開通を受け、本市初の「道の駅」整備に向け、地域住民・関係団体の協力のもと、懇談会やワークショップの開催、利用者ニーズ調査などを実施するとともに、国土交通省東北地方整備局及び岩手河川国道事務所の御助言をいただきながら、導入機能・整備規模・整備手法等の検討を進め、平成31年3月に基本計画を策定したところであります。

本市の目指す道の駅は、姫神山や岩手山の眺望をいかしながら、石川啄木記念館や旧尋常小学校など石川啄木ゆかりの施設との連携により、啄木が愛した原風景や過ごした時間を感じていただける施設としております。また、一日当たり11,000台を超える渋民バイパス利用車両への休憩や道路情報提供の場として、道路利用者等の交通安全の確保と利便性向上を図るとともに、災害時の一時避難の機能も期待されております。更に、地域情報の発信や付加価値のある農畜産物の販売、素材を生かした食の提供などにより、地域に活気を呼び込むほか、地域住民や子ども達の集いの場、子育て支援の場、地域を支える人材育成の場として地域振興の拠点施設となるものです。

つきましては、令和元年度(2019年度)には基本設計作成や、特産品開発などに着手し、令和5年度(2023年度)の開業を目指し事業実施を図る予定としておりますので、地方創生を推進し、持続可能な地域づくりを進めるためにも、当該道の駅整備の着実な推進について、国に働きかけていただきたく、特段の御理解と御配慮をいただきますよう要望いたします。

## 都市局所管盛岡市内街路事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点都市を目指し、現都心から盛岡南新都心地区に至る軸状都心の計画的な形成を図りながら、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に銳意努めているところであります。

しかしながら、既成市街地は、城下町特有である道路の整備率の低さのため多車線道路が少なく、バス等の公共交通機関が有効に機能しない状況となっております。さらに、新市街地の形成や隣接市町への市街地の拡大等により交通需要は増加傾向にあり、既成市街地の主要道路や中心市街地へ連絡する幹線道路等は、恒常的な交通混雑を引き起こし、円滑な都市活動や安全な交通の確保等が著しく阻害されており、街路の整備が急務となっております。

本市においては、「もりおか交通戦略」を立案し、バスを中心とした公共交通軸の充実・強化や中心市街地へのアクセス交通の分散誘導を図るため交通政策と一体となった街路事業に取り組んでいるところであります。

また、盛岡駅本宮線（杜の大橋）は、既存市街地や盛岡駅西口地区と新市街地である盛南地区を結ぶ重要な幹線道路であります。平成18年度に2車線での暫定共用を開始しておりますが、交通量が多く渋滞が発生しており、今後においても新市街地での住宅や商業施設等の立地が進み交通量の増加が見込まれることから、早期に杜の大橋を4車線化にする必要があります。

つきましては、都市局所管盛岡市内街路事業の着実な推進についてご配慮いただきたく要望いたします。

事業主体	区分	路線名	要望地区	工種
盛岡市	継続	めいじばしおおさかわら 明治橋大沢川原線	おおどおり 大通三丁目外	道路改築
盛岡市	新規	あたごちょうみつわり 愛宕町三ツ割線	やまとぎし 山岸四丁目外	"
岩手県	新規	もりおかえきもとみや 盛岡駅本宮線	もりおおはし 杜の大橋	橋梁4車線化

## 盛岡市内の県道の整備促進について

盛岡市は、現都心から盛岡南新都心地区に至る軸状都心の計画的な形成を図りながら、行政、経済、教育・文化、医療などの高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤施設の効率的な整備に鋭意努力しているところであります。

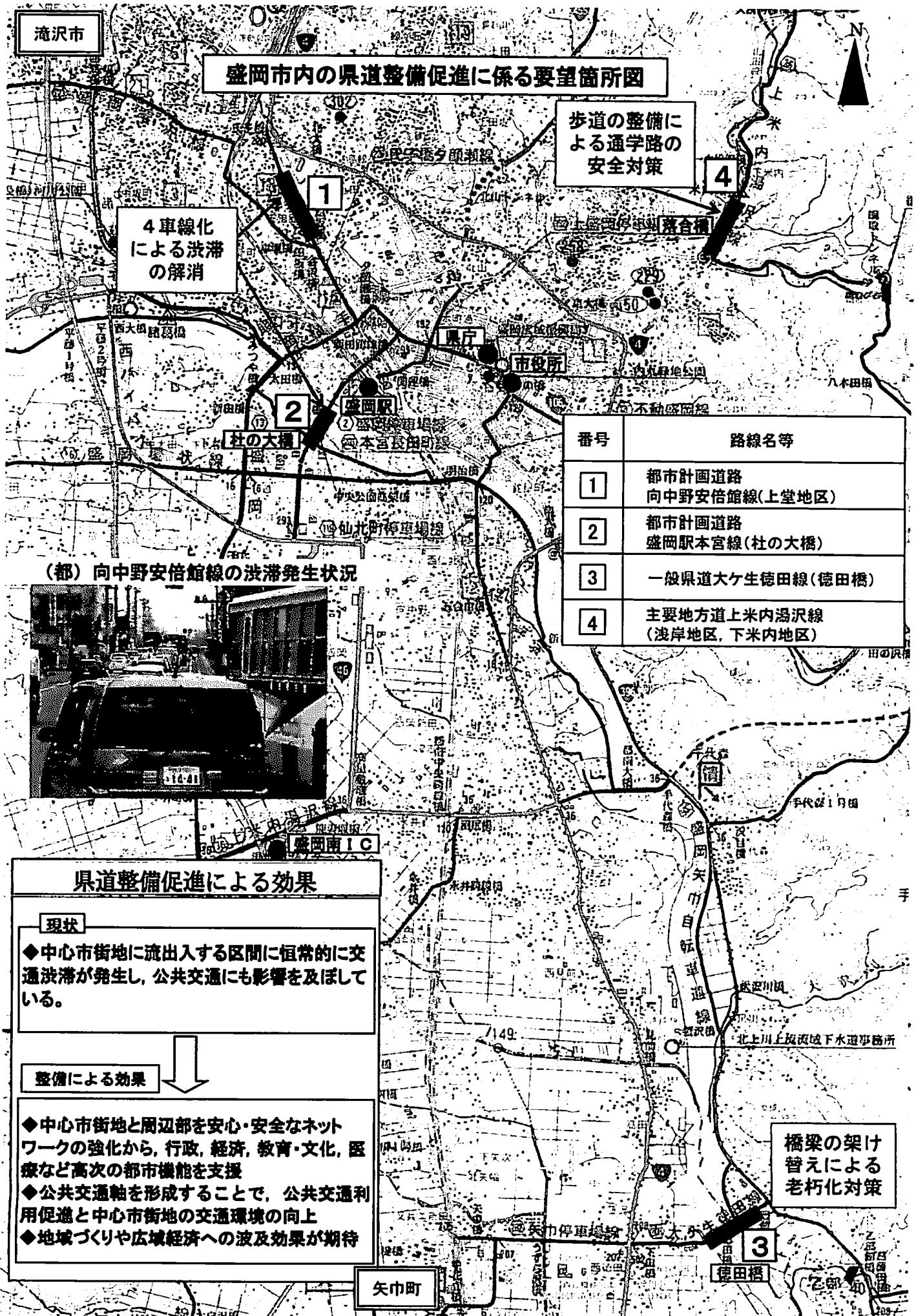
しかしながら、新市街地の形成や周辺町村の市街地拡大に伴う本市への交通需要の増加等により、随所で恒常的な交通混雑が発生するなど、市民生活はもとより経済活動にも影響を及ぼしており、円滑な交通の確保を図るため、幹線道路の整備が急務となっております。

特にも、こうした幹線道路の整備は、中心市街地と周辺部を結ぶ安心・安全なネットワークを強化し高次の都市活動を支え、地域づくりや広域経済に大きな波及効果をもたらし、関係住民も大きく期待するところであります。

また、郊外部において県道は盛岡市の主要な幹線道路として大型車の通行が多く、走行速度も速いことから、通学児童等通行者の安全を確保する歩道の整備や円滑で安全な通行を確保する急カーブ箇所等の道路改良が急務となっており、沿道住民から改善を待ち望まれています。なお、徳田橋や岩姫橋については老朽化が目立ち、陥没事故も発生していることから橋梁の架け替えによる老朽化対策も課題となっております。

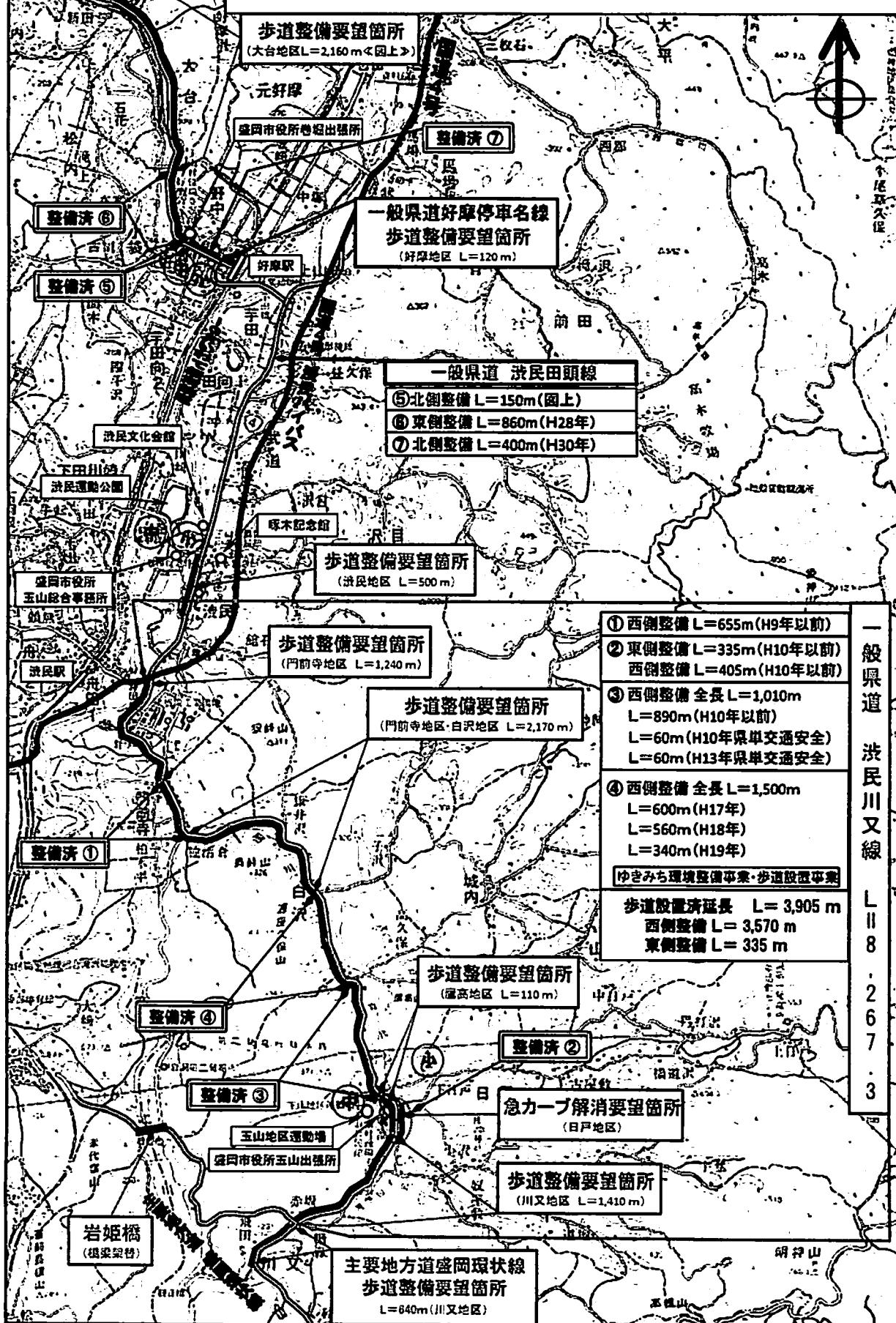
つきましては、次の県道の整備促進について要望いたします。

区分	路線名	要望地区	工種
継続	都市計画道路向中野 安倍館線	前九年二丁目から上堂一丁目 地区	道路改良
"	都市計画道路盛岡駅本宮線	杜の大橋	橋梁工事、4車線化
"	一般県道大ヶ生徳田線	徳田橋	橋梁架替
新規	主要地方道上米内湯沢線	浅岸地区、下米内地区	歩道整備
継続	一般県道渋民田頭線 及び好摩停車場線	渋民地区、好摩地区、大台地区	歩道整備
"	一般県道渋民川又線 及び主要地方道盛岡 環状線	門前寺地区、白沢地区、鷹高地 区、川又地区	歩道整備
"	一般県道渋民川又線	ひのと 日戸地区	急カーブの解消
"	主要地方道盛岡環状線	岩姫橋	橋梁架替



## 盛岡市内の県道整備促進要望箇所資料

(一般県道 渋民田頭線・好庫停車場線・渋民川又線／主要地方道盛岡環状線)



## 岩手県管理河川改修事業の促進について

水害から市民の生命と財産を守り、安全な生活環境を確保するため、本市において岩手県で実施されております河川改修事業が着実に進展しておりますことは、岩手県御当局の御尽力によるものと深く感謝いたしております。

しかしながら、盛岡市内を流れる岩手県管理河川のうち、一級河川北上川水系木賊川では、平成14年7月の台風により115戸の床上・床下浸水被害、平成19年9月の大暴雨では避難勧告の発令、また、一級河川北上川及び一級河川松川においては、平成25年9月に発生した台風により、86戸の床上・床下浸水をはじめ道路や農地への冠水、河川護岸の崩壊など甚大な被害が生じており、住民に大きな不安を与えており、被害にあった地域から、早期の抜本的河川改修が求められております。

また、一級河川南川につきましては、市街地の水害防止のため、県と市が分担して整備を進め、国道4号から下流の県施行分については、平成28年度をもって概成したところではありますが、北上川合流点付近が未改修となっており、平成19年9月や平成29年8月などの大雨により合流点付近に浸水、冠水の被害が発生し、地域から早期の河川改修が求められております。

つきましては、岩手県により進められております、この4河川の改修事業により、災害による被害の軽減と市民の安全安心な生活が確保されますよう、事業の促進について要望いたします。

# 岩手県管理河川改修事業

## 【要望効果】(木賊川)

H14年7月の台風被害において発生した、床  
上浸水16戸、床下浸水99戸の被害解消を図る。



木賊川 遊水地・河川改修要望  
(北上川合流点～滝沢市境)

上堂地区  
浸水状況 (H14. 7月)

## 【要望効果】(南川)

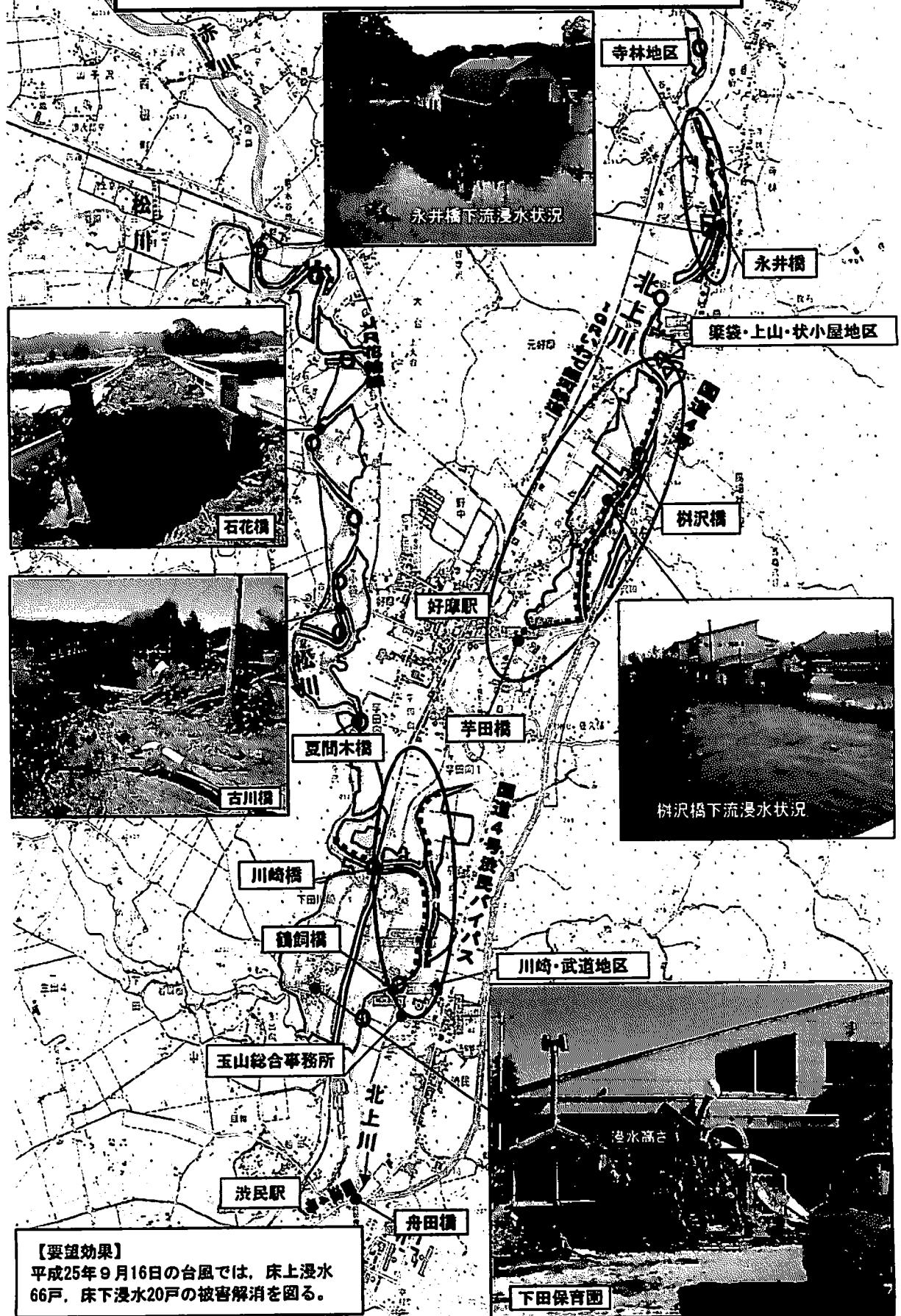
H19年9月、H29年8月などの大雨時における  
浸水、冠水被害を防ぎ、住民の安全を確保する。

南川 改修状況(H31年3月末)



## 岩手県管理河川改修事業の整備促進要望図

(盛岡市玉山地域内)



大雨洪水、台風による浸水範囲

60

○ H25.9災害対応箇所

## 都市基盤河川改修事業の推進について

盛岡市内を貫流する一級河川北上川水系<sup>みなみかわ</sup>南川は、毎年、降雨期には洪水による浸水被害が懸念されており、沿川住民の不安を解消するため、早期の河川改修が強く要望されております。

本河川は、盛岡南新都市土地区画整理事業の完工による市街化の進展に伴い、雨水の流入量が増加しており、市民の安全安心な生活を確保するため、整備が急務となっております。また、道明地区土地区画整理事業及び同地区に隣接して実施されている生活環境整備事業、産業等用地整備事業（道明地区）においては、早期の完成を目指し整備等が進められており、これらの事業と本河川の整備については、一体で取組むことが必要不可欠であります。

つきましては、都市基盤河川改修事業の着実な推進について御配慮いただきたく要望いたします。

## 築川ダム建設事業の促進について

築川ダム建設事業が着実に進展しておりますことは、岩手県御当局の御尽力によるものと深く感謝いたしております。

一級河川築川流域の洪水氾濫危険区域には、約 6,300 人が生活しており、平成 14 年 7 月の台風 6 号の洪水では堤防の一部が崩落するなど、浸水被害が懸念され、住民に大きな不安を与えております。

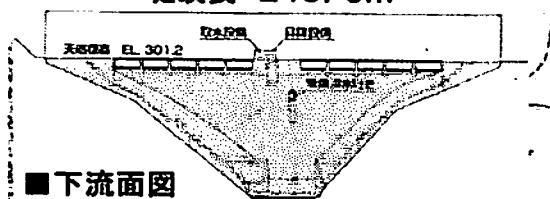
近年、全国的に集中豪雨や局所的な大雨が増大するなか、平成 25 年 8 月 9 日に発生した低気圧による大規模な出水では、御所ダム及び四十四田ダムにおいて洪水調節等の連携により河川の水位低減を図り、洪水被害の防止に大きな役割を果たしました。

築川ダムには市民の安全安心な生活を確保するための洪水防御の役割のほか、水道用水の確保や河川環境の保全、水力発電による二酸化炭素の軽減など多くの役割を担っていることから、早期完成が期待されております。

つきましては、築川ダム建設事業の促進について要望いたします。

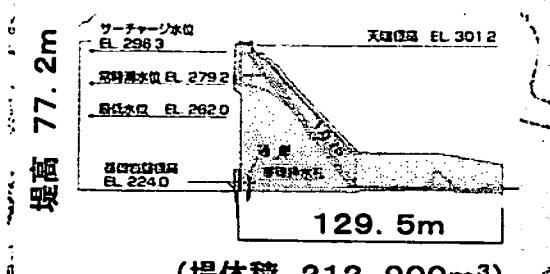
# 築川ダム建設事業

堤頂長 249. 0m



■下流面圖

断面図



(堤体積 212,900m<sup>3</sup>)

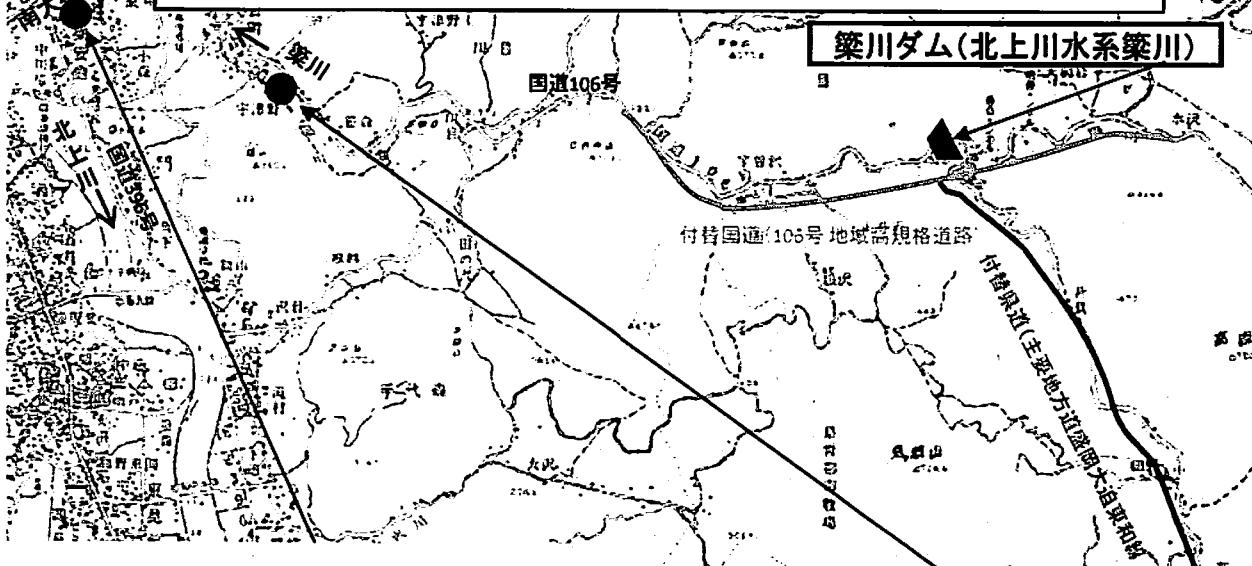


## 【要望効果】

ダムの整備により、水害防御による市民の安全安心な生活確保や水道水の供給、水力発電、河川環境の保全に寄与する。

ダムの効果

- ・洪水調節(ダム地点において計画洪水量580m<sup>3</sup>/sのうち480m<sup>3</sup>/sの洪水調節)
  - ・正常流量(既得取水の安定化、河川環境の保全)
  - ・水道用水(盛岡市、矢巾町への水道用水の供給5,000m<sup>3</sup>/日)
  - ・発 電(供給電力 約1,100万キロワットアワー/年(一般家庭約3,300世帯分))



H14.7洪水による堤防崩落現場(築川橋付近)



## H2.9洪水による出水状況(宇津野橋)

## 急傾斜地崩壊対策事業の促進について

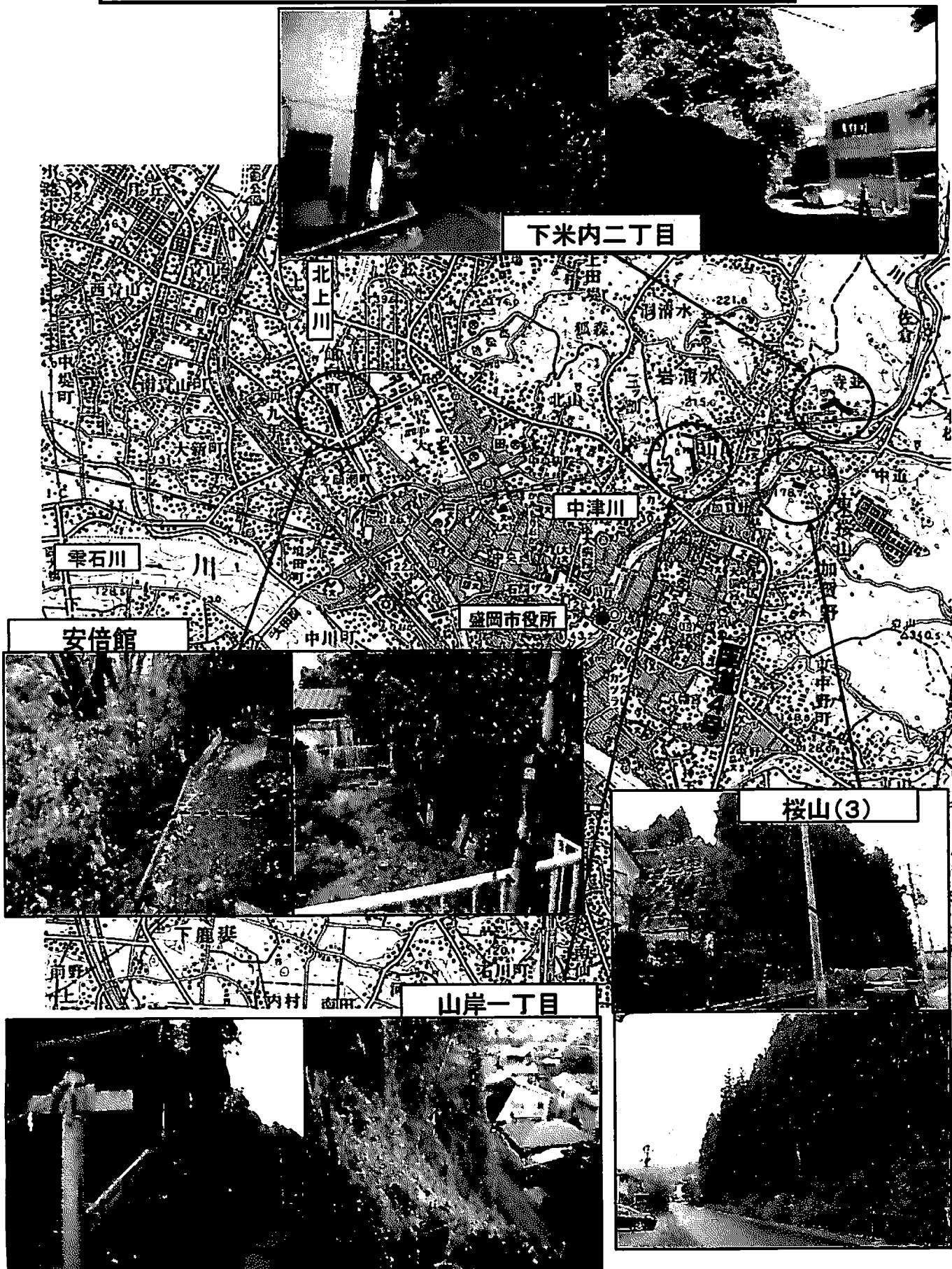
がけ崩れを含めた土砂災害から地域住民の生命と財産を守り、安全な生活環境を確保するため、急傾斜地崩壊対策事業が着実に実施されておりますことは、岩手県御当局の御配慮によるものと深く感謝いたしております。

しかしながら、西日本を中心とした平成30年7月豪雨や同年9月に発生した北海道胆振東部地震など全国各地で土砂災害が発生しており、本市においても大雨や地震による土砂災害の発生が懸念されており、住民に大きな不安を与えています。

特に、「安倍館地区」では、要望箇所に加え、隣接する箇所においてがけ崩れが発生するなど、予断を許さない状況となっているとともに、平成25年8月に発生した大雨・洪水により、繫地区の急傾斜地の一部斜面が崩落するなど、地域住民の安全確保が必要となっております。

つきましては、急傾斜地崩壊対策事業の「安倍館地区」、「桜山(その3)地区」の新規事業化、及び「山岸一丁目地区」、「下米内二丁目地区」、「繫地区」の事業促進について要望いたします。

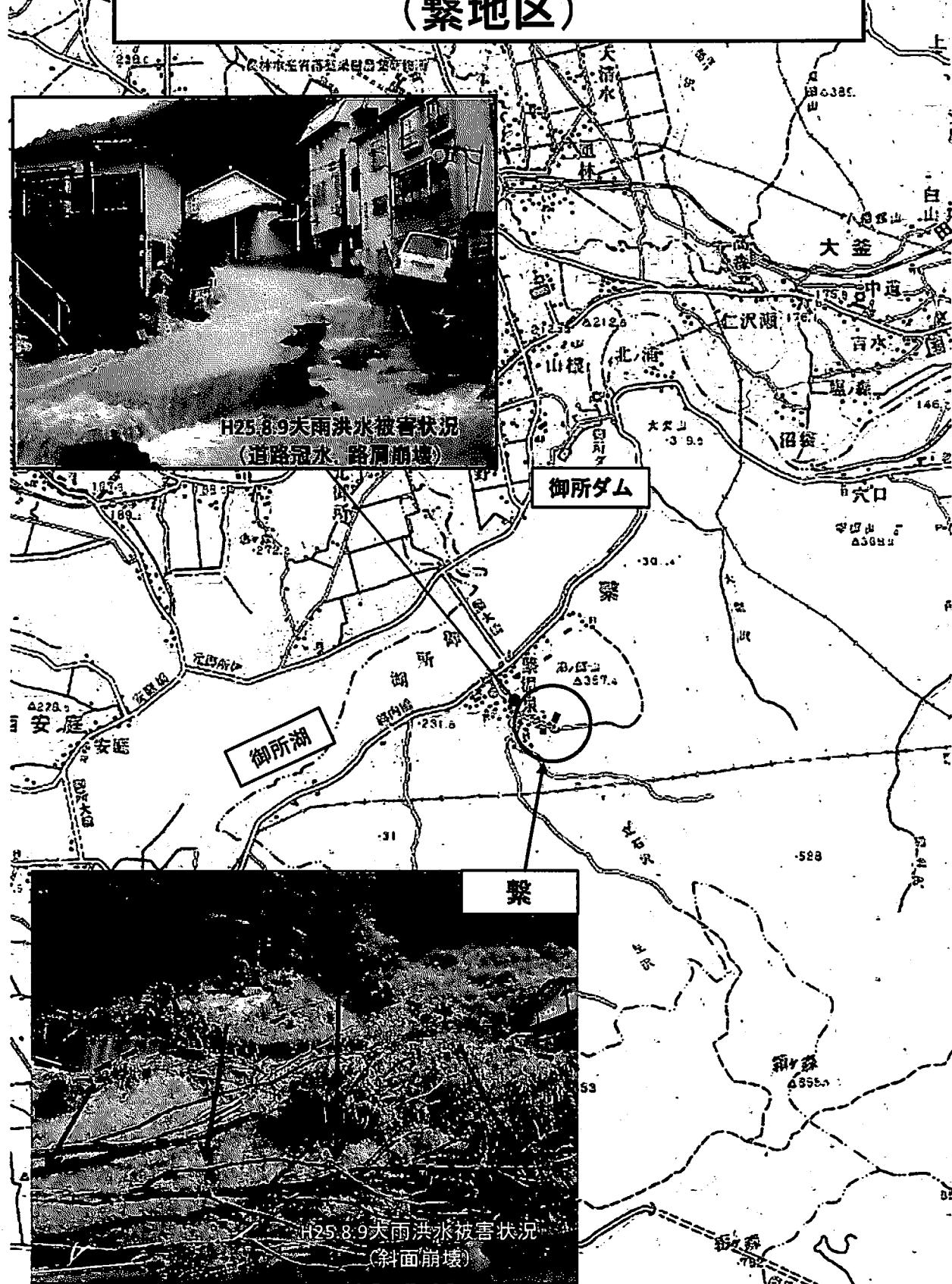
# 急傾斜地崩壊対策事業要望箇所図



## 【要望効果】

土砂災害から市民の生命を守り、安全安心な生活の確保に寄与する。

# 急傾斜地崩壊対策事業要望箇所図 (繫地区)



## 盛岡市土地区画整理事業の推進について

盛岡市の土地区画整理事業は、地区の恵まれた環境を生かしながら、機能的で魅力あるコンパクトで持続可能なまちづくりのため、**太田地区**、**道明地区**及び**都南中央第三地区**で事業を実施しております。

また、事業区域の縮小により、土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域においては、道路整備を中心として事業を実施しております。

本市においては、立地適正化計画も作成中であり、事業を早期完了し、居住誘導区域として、住民の生活利便性の維持・向上、行政サービスの効率化等による行政コストの削減等、効果の早期発現を目指しているところです。

しかしながら、完成までは未だに多額の事業費が見込まれること、地元から早期完成が要望されていること、土地区画整理事業と合わせたエリア全体の早期効果発現を行うべく、財源を確保して一層の事業推進を図る必要があります。

つきましては、盛岡市土地区画整理事業の着実な推進と土地区画整理事業によらない区域の生活環境改善推進について、引き続き国に働きかけていただきたいと要望いたします。

地区名	おおた 太田	どうみょう 道明	となんちゅうおうだいさん 都南中央第三
施行面積 (ha)	区画整理 77.2	区画整理 21.7 区画整理外 48.9 計 70.6	区画整理 26.5 区画整理外 17.5 計 44.0
事業期間	H5～R6 (清算 R11)	H15～R5 (清算 R10)	H12～R4 (清算 R9)
総事業費 (百万円)	区画整理 31,288	区画整理 5,620 区画整理外 2,992 計 8,612	区画整理 8,140 区画整理外 474 計 8,614
今後の見通し	～R6まで (6年)	～R5まで (5年)	～R4まで (4年)
残事業費 (百万円)	区画整理 7,978	区画整理 1,305 区画整理外 1,971 計 3,276	区画整理 1,862 区画整理外 184 計 2,046

※上表「区画整理外」は、「土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域」

## **循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について**

盛岡市は、健全で良好な水環境の創出を目指して、公共用水域の水質保全及び衛生的な生活環境の確保を図るため、「公共下水道」「農業集落排水」「浄化槽」の3事業により汚水処理事業を推進しているところであります。

平成26年1月の国土交通省、農林水産省及び環境省からの3省通知を踏まえ、平成27年度に公共下水道の計画区域を縮小し、浄化槽による整備区域を拡大することを柱とした「盛岡市汚水処理基本計画」を策定するとともに、平成37年度の汚水処理施設の概成を目指す「盛岡市汚水処理施設概成アクションプラン」を平成28年度に策定し、鋭意取り組んでいるところであります。

浄化槽による整備区域については、行政区域面積約88,647ヘクタールの約9割を占めており、人口集積が低い地域でありますが、平成29年度末時点で当該整備区域内人口のうち約38%の整備率に留まっており、より一層の整備促進が必要となっております。

つきましては、盛岡市浄化槽設置整備事業の一層の推進を図るため、浄化槽整備における循環型社会形成推進交付金の予算確保について国に働きかけていただくとともに、当該交付金と同額（年度間調整を含まない）の浄化槽設置整備事業費補助金の予算確保について要望いたします。

平成 31 年度 国・県予算要望成果  
(令和元年 5 月 17 日現在)

## 平成31年度国予算要望成果

注：件名欄に（国、県）とあるのは、国及び県の両方に要望した項目です。

No.	件名	要望成果			
1	社会资本整備 総合交付金及び防災・安全交付金に係る事業の推進について (国、県)	(単位：千円)			
		要望計画名	要望額	配分額	
		北東北の交流拠点としての快適な都市基盤づくりと盛岡市民が安全で安心に通行できる道づくり	116,625	59,200	
		もりおか交通戦略の推進	27,500	19,663	
		賑わいのある市街地の基盤づくり	1,141,989	622,999	
		岩手飯岡駅につながる幹線道路を中心とした都市基盤づくり	210,000	87,927	
		岩手県における快適で豊かに暮らせる生活環境の早期実現(重点計画)	205,750	181,750	
		緑が文化になるまち'盛岡'の形成	30,000	22,000	
		盛岡市における賑わい拠点づくり	14,400	12,000	
		第2期 岩手県地域における住宅セーフティネットの構築と住環境の整備(地域住宅計画)	242,161	157,870	
		岩手県地域住宅等整備計画(地域住宅計画)(重点計画)	135,443	135,443	
		北東北の交流拠点としての快適な都市基盤づくりと盛岡市民が安全で安心に通行できる道づくり(防災・安全)	229,529	156,943	
		第2期 いわての社会资本の事前防災・減災対策と戦略的な維持管理(防災・安全)	2,250	1,350	
		いわての社会资本の事前防災・減災対策と戦略的な維持管理(防災・安全)(総合流域防災事業)	17,000	17,000	
		いわての社会资本の事前防災・減災対策と戦略的な維持管理(防災・安全)(都市基盤河川改修事業)	194,000	194,000	
		いわての橋梁の適確な老朽化対策の推進(防災・安全)	167,137	154,024	
		いわての通学路等の安全・安心の確保(防災・安全)	571,782	517,235	
		いわて無電柱化推進計画(無電柱化推進計画支援)	48,261	48,261	
		良好な生活環境と健全な下水道の創出(防災・安全)	62,000	62,000	

No.	件名	要望成 果			
		岩手県における浸水不安のない街の実現 (防災・安全) (重点計画)	328,500	328,500	100.0%
		盛岡市における安心で安全な都市公園づくり (防災・安全)	58,200	52,000	89.3%
		岩手県地域住宅等整備計画 (重点計画) (防災・安全)	18,055	18,055	100.0%
		第2期 岩手県安全で安心できるすまいづくり・まちづくり (防災・安全)	441,515	353,445	80.1%
		合 計	4,262,097	3,201,665	75.1%
2	一般国道 106 号「都南川目道路」の整備促進について (国、県)	本路線は、築川道路側の川目 IC～田の沢 IC 間が平成 28 年 3 月に供用開始された。  平成 29 年 5 月には、手代森トンネルが貫通した。  平成 31 年度事業予定概要 ・事業費 約 32.33 億円 ・事業予定内容 調査推進：道路設計 支障移転補償 工事推進：改良工, 舗装工, 道路付属物工  ・用地進捗率 100% (H31 年 3 月) ・事業進捗率 約 90% (H31 年 3 月)  ・田の沢 IC～手代森 IC 間 L=3.4km 開通予定。			
3	一般国道 106 号「宮古盛岡横断道路(復興支援道路)」の整備促進及び直轄指定区間編入について (国、県)	平成 31 年度事業予定概要 ・事業費 開通必要額 70.87 億円 ・事業予定内容 調査推進：道路設計, 支障移転補償 工事推進：トンネル工, 橋梁工, 改良工 ・用地進捗率 100% (H31 年 3 月) ・事業進捗率 約 75% ( " )			
4	一般国道 46 号「盛岡西バイパス」の 2 車線供用区間の 4 車線化整備促進及び一般国道 4 号「盛岡南道路」の事業化に向けた調査促進について (国、県)	【一般国道 46 号「盛岡西バイパス」の 2 車線供用区間の 4 車線化整備促進】 ・平成 30 年度事業内容 調査推進：道路設計 工事推進：改良工事  ・平成 31 年度事業予定概要 事業費 約 3 億円  事業内容 調査推進：道路設計 工事推進：西大橋下部工 ・用地進捗率 100% (H31 年 3 月) ・事業進捗率 約 76% (H31 年 3 月)			

No.	件名	要望成 果																																														
5	道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について(国、県)	<p>【一般国道46号「盛岡西バイパス」の主要地方道上米内湯沢線以南への延伸】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度 計画段階評価を進めるための調査箇所へ位置付 道路計画検討に関するアンケート調査の実施</li> <li>・平成31年度 計画段階評価</li> </ul>																																														
		(単位:千円)																																														
6	一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備について(国、県)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th><th colspan="3">要望 内 容</th><th rowspan="2">要望成果</th></tr> <tr> <th>路 線 名</th><th>工 種</th><th>要 望 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継続</td><td>津志田白沢線</td><td>道路改築</td><td>110,000</td><td>81,364</td></tr> <tr> <td>〃</td><td>谷地頭線</td><td>〃</td><td>52,250</td><td>52,250</td></tr> <tr> <td>〃</td><td>岩手公園開運橋線ほか</td><td>交通安全, 無電柱化</td><td>87,748</td><td>87,748</td></tr> <tr> <td>〃</td><td>東中野門線</td><td>交通安全</td><td>115,500</td><td>67,546</td></tr> <tr> <td>〃</td><td>岩手飯岡駅東西自由通路</td><td>〃</td><td>33,000</td><td>33,000</td></tr> <tr> <td>31完了</td><td>南大橋明治橋線</td><td>〃</td><td>135,000</td><td>135,000</td></tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">計</td><td>533,498</td><td>456,908</td></tr> </tbody> </table>				区分	要望 内 容			要望成果	路 線 名	工 種	要 望 額	継続	津志田白沢線	道路改築	110,000	81,364	〃	谷地頭線	〃	52,250	52,250	〃	岩手公園開運橋線ほか	交通安全, 無電柱化	87,748	87,748	〃	東中野門線	交通安全	115,500	67,546	〃	岩手飯岡駅東西自由通路	〃	33,000	33,000	31完了	南大橋明治橋線	〃	135,000	135,000	計			533,498	456,908
区分	要望 内 容			要望成果																																												
	路 線 名	工 種	要 望 額																																													
継続	津志田白沢線	道路改築	110,000	81,364																																												
〃	谷地頭線	〃	52,250	52,250																																												
〃	岩手公園開運橋線ほか	交通安全, 無電柱化	87,748	87,748																																												
〃	東中野門線	交通安全	115,500	67,546																																												
〃	岩手飯岡駅東西自由通路	〃	33,000	33,000																																												
31完了	南大橋明治橋線	〃	135,000	135,000																																												
計			533,498	456,908																																												
<p>道の駅整備方針検討会への国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所職員の委員就任や、道の駅整備に関する検討への協力を得て、道の駅設置事業の推進を図った。</p>																																																
7	都市局所管盛岡市街路事業の推進について(国、県)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th><th colspan="3">要望 内 容</th><th rowspan="2">要望成果</th></tr> <tr> <th>路 線 名</th><th>工 種</th><th>要 望 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継続</td><td>盛岡駅南大通線</td><td>道路改築</td><td>50,000</td><td>35,750</td></tr> <tr> <td>〃</td><td>明治橋大沢川原線</td><td>〃</td><td>5,000</td><td>3,576</td></tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">計</td><td>55,000</td><td>39,326</td></tr> <tr> <td colspan="4"></td></tr> </tbody> </table>				区分	要望 内 容			要望成果	路 線 名	工 種	要 望 額	継続	盛岡駅南大通線	道路改築	50,000	35,750	〃	明治橋大沢川原線	〃	5,000	3,576	計			55,000	39,326																				
区分	要望 内 容			要望成果																																												
	路 線 名	工 種	要 望 額																																													
継続	盛岡駅南大通線	道路改築	50,000	35,750																																												
〃	明治橋大沢川原線	〃	5,000	3,576																																												
計			55,000	39,326																																												
<p>○夕顔瀬地区のボトルネック対策の調査費用 ・平成31年度 40,000千円</p>																																																
<p>○河川の「適切な管理」として樹木伐採を実施 ・平成30年度 中津川 樹木伐採 約 11,800 m<sup>2</sup></p>																																																

No.	件名	要望成果
9	岩手県管理河川改修事業の促進について (国、県)	<p>1 「木賊川河川改修事業」 平成30年度事業費 90,000千円 (H29 繰越含) 遊水地工事 一式 平成31年度事業費 170,000千円 (H30 繰越含) 遊水地工事 一式</p> <p>「北上川・松川河川改修事業」 ・松川 平成30年度事業費 8,395千円 用地測量・用地補償 一式 平成31年度事業費 149,605千円 (H30 繰越含) 河道拡幅等工事 一式 119,605千円 用地補償 一式 30,000千円</p>
10	都市基盤河川改修事業の推進について (国、県)	<p>平成30年度事業費 435,000千円 補償費 852千円 借地料 1,755千円 工事負担金 (JR横断) 222,067千円 工事負担金 (H31～繰越) 210,326千円</p> <p>平成31年度事業費 582,000千円 借地料 1,800千円 工事負担金 (JR横断) 580,200千円</p>
11	一級河川北上川水系築川ダム建設事業の促進について (国、県)	<p>平成30年度 5,251,992千円 築川ダム建設事業費 5,251,992千円 ダム本体工事 一式 取水放流設備 一式 機能補償林道工事 一式</p> <p>平成31年度 3,621,992千円 築川ダム建設事業費 3,621,992千円 ダム本体工事 一式 取水放流設備 一式 機能補償林道工事 一式</p>
12	急傾斜地崩壊対策事業の促進について (国、県)	<p>1 下米内二丁目地区 H27～事業休止中</p> <p>2 安倍館地区 H24～用地交渉継続中</p> <p>3 山岸一丁目地区 H30 地元合意形成 H31 用地測量 27,000千円 (H30 繰越含)</p> <p>4 繁地区 H30 保安林解除手続き H31 第2工区工事 22,000千円 (H30 繰越含)</p> <p>5 桜山(その3)地区 H30 地元合意形成 H31 補助採択申請予定</p>

No.	件名	要望成績			
13	盛岡市土地区画整理事業の推進について (国、県)	盛岡市土地区画整理事業 (単位：千円)			
		要望計画名	要望額	配分額(※)	配分額／要望額
		賑わいのある市街地の基盤づくり	1,141,989	622,999	54.6%
		岩手飯岡駅につながる幹線道路を中心とした基盤づくり	210,000	87,927	41.9%
		合 計	1,351,989	710,926	52.6%
		※…平成31年3月29日内示 国費			
14	盛岡地区かわまちづくり事業の促進について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会・勉強会の開催</li> <li>・環境整備事業（階段の整備・サイン設置・中州撤去等）</li> <li>・水辺の賑わい創出（舟運イベントの開催等）</li> </ul>			
15	盛岡市公共下水道事業の推進について	盛岡市公共下水道事業費 (単位：千円)			
		内訳	要望額	暫定内示額	
		未普及解消事業費	205,750	181,750	
		水質保全事業費			
		浸水対策事業費	390,500	390,500	
		改築更新事業費			
		合 計	596,250	572,250	
16	循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について (国、県)	<p>平成31年度内示額</p> <p>浄化槽設置整備事業費補助金（個人設置型）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費 18,061千円</li> <li>うち交付金 4,286千円</li> <li>うち県費補助金 6,020千円</li> <li>・整備基数 45基（5～10人槽）</li> </ul>			

No.	件名	要望成績			
17	国指定史跡盛岡城跡保存整備事業及び国指定史跡志波城跡保存整備事業の推進について	【史跡盛岡城跡保存整備事業】 (単位:千円)			
		要望内容		要望成績	
		項目	要望額		
		三ノ丸北西部石垣修復等工事	86,541 千円	50,000 千円	
		三ノ丸北西部石垣修復工事施工監理	4,138 千円	3,626 千円	
		石垣変位調査業務委託	1,296 千円	1,296 千円	
		鶴が池等樹木伐採業務委託	10,217 千円	4,342 千円	
		遺構等測量図化業務委託	5,514 千円	3,000 千円	
		整備委員会・発掘調査等	14,712 千円	5,064 千円	
			122,418 千円	67,328 千円	
		計	うち補助額 61,209 千円	うち補助額 33,664 千円	
			補助率 50%	補助率 50%	
18	防衛施設周辺整備事業(民生安定施設整備事業)による防災行政無線の整備推進について	本市玉山地域における防災行政無線の更新及びデジタル化整備推進について、防衛施設周辺対策事業(民生安定施設整備事業)の補助事業を活用し、平成31年度においては、要望額のとおり当該補助金158,059千円が交付決定された。  ※内定 4月25日 ※決定 6月上旬(予定)			

## 平成31年度県予算要望成果

( 県のみに要望した項目 3件 )

No.	件 名	要望成果																																																
1	スポーツ推進施策の充実強化について	<p>H30年度から国際レベルで活躍する選手の育成実績のある競技団体に、ジュニア選手育成に係る支援を行っている。平成31年度における関係競技団体への選手強化費の支援を継続            (平成31年度 : 185,055千円)</p> <p>外部有識者や競技団体等からの意見を参考に岩手県公共施設等総合管理計画に基づき2020年度までに策定するとしている個別施設計画の中で、市町村との連携・協働、役割分担や、県の財政状況を踏まえ総合的に検討</p> <p>都市公園として活用可能な貴重な空間であると認識しており、活用に関する公園利用者のニーズや地域振興の観点も踏まえ、市等と継続して検討していきたい。</p> <p>市が行う球技場の施設修繕が県民サービス向上の観点からどのような整備計画なのか説明頂き、必要に応じ、国等から財政支援が得られるよう、市と共同での要請などの対応を行う。</p>																																																
2	水道施設耐震化等推進事業費補助金の確保について	<p>水道施設耐震化等推進事業費補助金（生活基盤施設耐震化等交付金）</p> <p>【内示額】要望額のとおり</p> <p>合計 230,960千円</p> <p>老朽管更新事業 40,000千円</p> <p>重要給水施設配水管 38,168千円</p> <p>水道管路緊急改善事業 91,374千円</p> <p>高度浄水施設等整備費 41,168千円</p> <p>配水池 20,250千円</p>																																																
3	盛岡市内の県道の整備促進について	<p style="text-align: right;">(単位 : 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">要 望 内 容</th> <th rowspan="2">要望成 果</th> </tr> <tr> <th>路 線 名</th> <th>地区名</th> <th>工 種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継続</td> <td>都市計画道路向中野安倍館線</td> <td>上堂地区</td> <td>道路改良</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>都市計画道路盛岡駅本宮線</td> <td>杜の大橋</td> <td>橋梁工事, 4車線化</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>一般県道大ヶ生徳田線</td> <td>徳田橋</td> <td>橋梁架替</td> <td>674,500</td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>一般県道渋民田頭線 及び好摩停車場線</td> <td>渋民, 大台, 好摩地区</td> <td>歩道整備</td> <td>35,000</td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>一般県道渋民川又線 及び主要地方道盛岡環状線</td> <td>門前寺, 白沢, 鷹高, 川又地区</td> <td>歩道整備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>一般県道渋民川又線</td> <td>日戸</td> <td>急カーブの 解消</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>主要地方道盛岡環状線</td> <td>岩姫橋</td> <td>橋梁架替</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td align="right" colspan="4">計</td><td>709,500</td></tr> </tbody> </table> <p>※県の当初予算額であり、国の交付金内示額とは異なる。</p>	区分	要 望 内 容			要望成 果	路 線 名	地区名	工 種	継続	都市計画道路向中野安倍館線	上堂地区	道路改良	—	"	都市計画道路盛岡駅本宮線	杜の大橋	橋梁工事, 4車線化	0	"	一般県道大ヶ生徳田線	徳田橋	橋梁架替	674,500	"	一般県道渋民田頭線 及び好摩停車場線	渋民, 大台, 好摩地区	歩道整備	35,000	"	一般県道渋民川又線 及び主要地方道盛岡環状線	門前寺, 白沢, 鷹高, 川又地区	歩道整備	—	"	一般県道渋民川又線	日戸	急カーブの 解消	—	"	主要地方道盛岡環状線	岩姫橋	橋梁架替	—	計				709,500
区分	要 望 内 容			要望成 果																																														
	路 線 名	地区名	工 種																																															
継続	都市計画道路向中野安倍館線	上堂地区	道路改良	—																																														
"	都市計画道路盛岡駅本宮線	杜の大橋	橋梁工事, 4車線化	0																																														
"	一般県道大ヶ生徳田線	徳田橋	橋梁架替	674,500																																														
"	一般県道渋民田頭線 及び好摩停車場線	渋民, 大台, 好摩地区	歩道整備	35,000																																														
"	一般県道渋民川又線 及び主要地方道盛岡環状線	門前寺, 白沢, 鷹高, 川又地区	歩道整備	—																																														
"	一般県道渋民川又線	日戸	急カーブの 解消	—																																														
"	主要地方道盛岡環状線	岩姫橋	橋梁架替	—																																														
計				709,500																																														